

令和6年度

与謝野町教育の事業点検・評価  
報告書

令和8年2月

与謝野町教育委員会

## 1 事務事業点検と評価の概要

### (1) 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し公表しなければならないとされています。

この報告書は、同法の既定に基づき、令和6年度に与謝野町教育委員会が執行した事業の取組状況と成果をまとめ、自己点検による評価と学識経験者による外部評価をいただいて整理したものです。

この点検と評価を今後の教育委員会活動や教育施策に反映させることで、与謝野町における教育施策が、住民の皆様方のご理解の下に、より適切・円滑に推進できますよう、事業の見直しや取組の強化を図ることとしています。

### (2) 点検と評価の方法

各事務・事業を「事業評価表」により自己点検と評価を行っています。さらに、学識経験者等による「事務事業評価委員会議」を開催し、外部評価をいただいています。

#### ◆評価委員

- 学識経験者 福知山公立大学 大谷 杏 准教授
- 一般委員 2名

#### ◆評価委員会開催状況

- 令和7年11月 4日 第1回事務事業評価委員会
- 令和7年12月15日 第2回事務事業評価委員会
- 令和8年 1月28日 第3回事務事業評価委員会

## 2 教育委員会開催状況

- (1) 開催回数 ○定例会議 11回
- 臨時議会 1回

### (2) 審議状況

開催日	区分	審議・協議事項
4月25日	定例	・専決処分の承認を求めることについて (与謝野町立体育施設条例施行規則の一部を改正する規則)

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・与謝野町社会教育委員の委嘱について</li> <li>・与謝野町公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・与謝野町立図書館協議会委員の委嘱について</li> <li>・与謝野町伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について</li> <li>・与謝野町青少年育成会規則を廃止する規則について</li> <li>・専決処分の承認を求めることについて (令和5年度与謝野町一般会計補正予算(第10号) 令和6年度与謝野町一般会計補正予算(第1号))</li> </ul>
5月27日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分の承認を求めることについて (令和6年度与謝野町一般会計補正予算(第2号))</li> <li>・学校運営協議会委員の委嘱について</li> <li>・地域学校協働活動推進員の委嘱について</li> </ul>
6月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与謝野町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について</li> </ul>
7月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与謝野町教育委員会事務局組織規則の一部改正について</li> </ul>
8月30日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分の承認を求めることについて (与謝野町奨学資金貸与条例の一部改正について、令和6年度与謝野町一般会計補正予算(第3号)、令和5年度与謝野町一般会計歳入歳出決算認定について)</li> <li>・令和7年度使用与謝野町立小学校教科用図書採択について</li> <li>・令和7年度使用与謝野町立中学校教科用図書採択について</li> <li>・与謝野町教育委員会事務局組織規則の一部改正について</li> </ul>
10月1日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分の承認を求めることについて (令和6年度与謝野町一般会計補正予算(第4号))</li> <li>・与謝野町文化財の指定等に係る諮問について</li> </ul>
11月1日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
11月29日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分の承認を求めることについて (与謝野町奨学資金貸与条例の一部改正について、令和6年度与謝野町一般会計補正予算(第7号))</li> <li>・与謝野町文化財の指定等について</li> </ul>
12月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分の承認を求めることについて (令和6年度与謝野町一般会計補正予算(第8号))</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・与謝野町学校運営協議会規則の一部改正について</li> <li>・図書館条例施行規則の一部改正について</li> </ul>
令和7年 1月30日	定例	・なし
2月26日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分の承認を求めることについて (令和6年度与謝野町一般会計補正予算(第10号) 令和7年度与謝野町一般会計予算について)</li> <li>・令和7年度与謝野町立小・中学校の管理教職員の人事異動の内申について</li> </ul>
3月10日	臨時	・令和7年度与謝野町立小・中学校の一般教職員の人事異動の内申について

### (3) その他の活動

- こども園訪問 (R6.7.8～R6.7.22) 3日間 (3こども園)
- 学校訪問 (R6.11.8～R7.1.14) 9日間 (6小学校、3中学校)
- 教育委員研修会 4回 (丹後連合会、京都府連合会、近畿大会)
- 町総合教育会議 1回
- その他 (各種学校行事の参観、教科用図書採択地区協議会など)

## 3 事業の総括

与謝野町教育委員会では、「与謝野町教育の重点」並びに「与謝野町社会教育の重点」を策定し、京都府教育委員会との連携のもと、地域の文化や資源を取り入れた与謝野町ならではの特色ある教育行政を推進しております。

「与謝野町教育大綱」の教育理念である「世界中の国や地域で、自らの責務を果たすことができ、自信と思いやりにあふれ、創造的に未来を開拓する精神をもつ人間を育む」ため、教育大綱で定めた基本目標の具現化を目指してまいりました。

また、開かれた教育行政を推進する観点から、町の教育施策について、町有線テレビや広報誌等を通じて積極的な広報に努め、教育施策の「見える化」に努めているところです。

学校教育活動におきましては、与謝野町ならではの教育を基本に、各学校において「特色ある学校づくり」を進め、与謝野町の歴史や伝統、文化など地域の特色を生かした取組に対し、補助金を交付することで特色ある教育行政を推進しました。

また、従前から実施してきました小小、小中連携の取組等を進め、義務教育9年間を見据え一層の充実を図っています。各中学校ブロック校長会やブロック研修会を開催し、授業公開、研修会をとおして授業改善をはじめ児童生徒の安心できる「学級・学校づくり」を進めています。

なお、町独自の取組として、学級満足度調査という心理検査を実施し、子ども達

それぞれの「心の状況」や「学校での生活意欲」などの内面を探り、分析することにより、安心安全な「学級・学校経営」を進めています。

また、保幼小連携の充実を図るため、保育所・認定こども園の園長会議に指導主事が出席し、幼児期の教育と小学校教育の接続に向けた計画（保幼小接続カリキュラム）を具体化し、共通理解のもとに指導を行い、小学校に入学した子ども達が、学校生活の変化にうまく適応できるよう一層の推進・連携を図っています。

施設面におきましては、学校給食センターの新築にあたり、その施設整備予定地である旧岩屋小学校の解体撤去工事を実施したほか、石川小学校の空調設備の更新、市場小学校の給水工事を実施いたしました。

また、令和6年3月に「学校の適正規模適正配置に関する基本方針【改定版】」を策定し、今後はこの方針に基づき、児童生徒にとってより望ましい学校づくりを推進していきます。

施設の整備については、令和2年度に作成した「与謝野町学校施設長寿命化計画」に基づき、安心安全な学校環境の整備を計画的に進める必要があります。

また、整備したICT機器を有効に活用したICT教育の充実を図るほか、老朽化している学校給食センターの新築に向け事務を進めてまいります。

社会教育分野につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う規制や出控え等の影響はもはやなくなり、知遊館・中央公民館・加悦地域公民館において多様な講座やステージイベントを開催したほか、実行委員会や各種団体が主催する与謝蕪村顕彰全国俳句大会、人権講演会、こども発表会、大江山登山マラソン、町駅伝競走大会、文化祭等も開催され、それぞれの事業に多くの方々に参加いただくことができました。

地域におきましても、地区公民館を拠点にそれぞれの地域に合わせた多様な公民館活動が展開され、社会教育の基本となる人づくり・つながりづくり・地域づくりが進められました。

図書館につきましては、メーカーによるシステムサポート終了に伴い、新しい図書館システムへの移行と端末機器の更新を同時に行い、利用者にとってより使いやすいものになりました。また、蔵書購入や府立図書館貸出文庫の活用、町内小中学校や学童保育所への貸出、おはなし会、夏休み読書マラソン、絵本作家講演会等の多彩な取組を実施し、人口一人あたりの貸出冊数が前年度より微増となり、イベントへも多くの参加が見られました。

その他施設面につきましては、個々の施設で利用件数に増減はありましたが、概ね横ばい傾向でした。しかし、所管する多くの施設が老朽化しているため、知遊館事務室等空調設備の更新、中央公民館屋上防水シート修繕、スポーツトラクタースパイラルローター修繕等の多くの修繕を行い施設の維持管理に努めたものの、先を見据えた施設のあり方の検討及び計画的な修繕の実施が課題となっています。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動につきましては、加悦小中学校学校運営協議会の設置に続き、野田川地域の4小学校・1中学校と岩滝小学校への学校

運営協議会が設置され、残る橋立中学校への設置に向けて学校とともに準備を進め令和7年度設置の目途を付けることができました。

高校魅力化事業につきましては、町内にひとつしかない宮津天橋高校加悦谷学舎に魅力化コーディネーターを引き続き配置し、探究学習やキャリア教育、町内の小中学校とのスポーツ交流・英語交流・探究交流等を進め、令和6年度生徒の地域愛着度の平均値を82%に高めることができました。加えて第2期与謝野町高校魅力化ビジョン（期間：令和7～9年度）を高校や多くの関係者の協力のもと策定することができました。

文化財保護の分野につきましては、与謝野町にとって重要な文化財で価値があるとして、与謝郡加悦町大字加悦全図ほか2件を与謝野町指定等文化財とし、また、日吉ヶ丘遺跡第7次・8次調査報告書の作成、弓木城跡・弓木北城跡の試掘を行いました。

加悦重要伝統的建造物群保存地区におきましては、地区内の建造物の修理・修景、守り育てる会への支援等を継続して実施したほか、古墳公園、江山文庫等の教育文化施設の管理運営を行い、地域の歴史文化の理解促進・発信等に努めました。

最後に学童保育所につきましては、社会福祉協議会から民間事業者へ管理運営委託を変更し、市場第二学童保育所の開設等により定員総数265人（前年度比40人増）を実現するとともに、「子どもファースト」を学童保育サービスの質の向上を図り、多くの保護者から高い評価を得ることができました。

なお、低学年の児童も待機となった石川地区におきましては、学童保育サービスではないもの「石川臨時見守り室」を石川地区公民館に臨時開設し、子ども達の見守り活動を実施しました。

## 与謝野町教育委員会事務事業評価に関して（令和6年度分）

大谷 杏（福知山公立大学准教授）

### 1. 総評

新型コロナウイルスの影響が薄れた令和6年度は、漸くコロナ以前と同規模の事業実施に本格的に向かうことができた1年であったと言える。

学校教育分野に関しては、以前からの取り組みである、特色ある学校づくり、小小・小中連携、各中学校ブロック校長会や研修会、学級満足度調査、保幼小接続カリキュラムなどが引き続き実施された。また、施設面においては、学校給食センターの新築に先立って実施された旧岩屋小学校の解体撤去工事、石川小学校の空調設備の更新、市場学校の給水工事が行われた他、前年度3月に策定された、今後の望ましい学校づくりの在り方を示した「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針【改訂版】」に基づいて議論が開始された。

社会教育分野に関しては、知遊館、中央公民館、加悦地域公民館において多様な講座やステージイベントが実施された他、実行委員会や各種団体が主催する与謝蕪村顕彰全国俳句大会、人権講演会、こども発表会、大江山登山マラソン、町駅伝競走大会、文化祭等も開催され、多くの参加があった。また、各地域の地区公民館においても多様な活動が進められた。図書館においては、新たな図書館システムへの移行と端末機器の更新が行われたことで利用者の利便性が増し、人口一人当たりの貸出冊数が前年度を上回り、イベントにも多くの参加が見られた。また、蔵書購入や府立図書館貸出文庫の活用、町内小中学校や学童保育所への貸出、おはなし会、夏休み読書マラソン、絵本作家講演会等の取り組みも行われた。施設面においては、知遊館事務室等の空調設備の更新、中央公民館屋上の防水シートの修繕、スポーツトラックスパイラルローター修繕等の多くの修繕が実施された。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動においては、加悦小中学校に続き、野田川地域の4小学校、1中学校と岩滝小学校に対し、学校運営協議会が設置された。高校魅力化事業については、宮津天橋高校加悦谷学舎に魅力化コーディネーターを継続配置し、生徒の地域愛着度82%の平均値を得、第2期与謝野町高校魅力化ビジョンを策定することができた。文化財保護の分野においては、与謝郡加悦町大字加悦全図他2件を与謝野町指定等文化財とし、日吉ヶ丘遺跡第7次・8次調査報告書の作成、弓木城跡、弓木北城跡の試掘が行われた。加悦重要伝統的建造物群保存地区についても、地区内の建造物の修理・修景、守り育てる会への支援等が継続実施された他、古墳公園、江山文庫等の教育文化施設の管理運営と共に、地域の歴史文化の理解促進、発信が行われた。学童保育所については、社会福祉協議会から民間事業者への管理運営委託の移行により、定員総数の増加や質の向上の実現が図られ、多くの保護者から高い評価を得た。また、低学年の待機児童が発生した石川地区においては、「石川臨時見守り室」が開設された。以上の点を総合的に判断すると、令和6年度における与謝野町の教育委員会事務事業として「おおむね良好」と評することができる。その一方で、以下の点については更なる改善が求められる。

- ・不登校やグレーゾーンの児童生徒に対し、子ども、家庭の両者を地域社会が見守る視点が重要であり、場合によっては専門家の介入など、今後も現場を支える効果的かつ継続的な取り組みが期待される。(不登校等対策事業)

- ・地区公民館においては、様々な課題はあるが、今後も地区の特性を生かした活発な公民館活動の継続が望まれる。(地区公民館管理運営事業)

## 2. 昨年度の指摘事項の取り組みについて

### ・昨年度の指摘事項①

今後の社会教育施設の在り方を議論していく中で、町内各社会教育施設の使用料の受益者負担の適正額についての検討も必要である。

⇒負担の適正額よりもむしろ、老朽化への対応や今後の施設の在り方の検討が急がれている。また、社会教育施設と学校施設は密接にかかわっているため、今後の施設の在り方の検討と並行して、近隣市町の例なども参考に適正額の検討をお願いしたい。

### ・昨年度の指摘事項②

各種イベントの開催により、町民は町内の社会教育施設を身近に感じることができ、さらには施設利用者の定着や地域の魅力の学びに繋がることも期待できる。町内の各社会教育施設の活用という点において、民間の柔軟な発想を採り入れるなど、施設ならではの魅力や有用性が生かされることを期待したい。

⇒イベント開催の定着は社会教育施設の入場者数増加にある程度繋がっているが、急増には至っていない。さらなる増加を図るためには、町内の資源に興味を示す全国の人へ向けたより一層の広報活動、ツアーの企画・実施等が求められる。

## 3. ピックアップ事業について

### (1)学校教育課

#### ・奨学資金貸付事業 (p.13)

貸付希望者を増やすために今まで以上の広報活動を行う必要がある。また、未償還者の債権管理問題を解決するために、現在は書類審査のみとなっている借用時の審査に本人の対面での手続きも組み込んだ上できちんと説明を行い、より一層借用の自覚を持ってもらうなどの工夫が今後求められる。

#### ・小・中学校教育設備整備事業 (p.29、p.41)

厳しい財政状況の中、最低限整備すべき設備の品目、性能等を検討し、効率的に整備を

進める必要があるが、今後はタブレット端末付き顕微鏡のような新たな教材の導入も検討事項となる。現在、学校側からの予算要求にほぼ対応できている点は評価でき、今後も継続を願う。しかし、備品が高価であることから、該当教科以外も含め最大限の活用が望まれる。

## (2)社会教育課

### ・社会教育推進事業 (p.49)

日中の会議を夜間開催に変えたことにより委員の全員参加が可能となった社会教育委員設置事業、新たに小学校卒業までに転出した旧町民にも案内が送付された成人式開催事業、育成会子ども発表会に加悦谷学舎の生徒が参加した青少年育成事業、大会前日の茶話会実施や当日座談会の内容を充実させた俳句文化振興事業など、それぞれの事業に新たな工夫が見られ、町民からも好評を得ているようである。厳しい財政状況の中ではあるが、他団体と協力のもと、友好協会やALTの人的資源を活用し、世代間・地区間の交流をより一層充実させていくことが望まれる。

### ・椿文化資料館管理運営事業 (p.71)

指定管理者による情報発信や体験の充実、展示の工夫により、インバウンドの来館も含め一定の来館者数は確保できているが、コロナ禍で減少した来館者数の回復と指定管理者組織内の後継者不足が課題である。今後、更なる来館者数を見込むためには、椿の成長から実の収穫・利用までの一連の流れを紹介するなど、広報の充実が求められる。

## その他

・全国的に熊による被害が問題となったが、通学路の変更も含めて対応が成されており、今後も引き続き注意深く対策をお願いしたい。

・児童生徒数の減少に伴い学校給食数も減っているとのことだが、昨今の物価高への対策として与謝野町では物価の上昇分を町が負担している点は評価できる。

・今後も給食の残菜を減らすための継続的な努力を願うが、新給食センターにおける残菜の堆肥化処理装置の導入計画により、利用者である児童・生徒にとって自らの生活と関連付けた形で循環型社会について学ぶ機会が提供されることに期待したい。

令和6年度

# 事務事業評価シート

与謝野町教育委員会

## 【目 次】

放課後児童健全育成事業	1	屋内体育施設管理運営事業	81
教育委員報酬	3	学校給食センター管理運営事業	83
教育委員会費一般経費	5	学校給食センター施設整備事業	85
指導主事等設置事業	7		
教職員住宅管理事業	9		
事務局費一般経費	11		
奨学資金貸付事業	13		
不登校等対策事業	15		
学校教育振興事業	17		
ALT事業	19		
小学校管理運営事業	21		
小学校施設整備事業	23		
自校給食管理運営事業	25		
小学校情報教育推進事業	27		
小学校教育設備整備事業	29		
小学校就学援助事業	31		
小学校教育振興事業	33		
中学校管理運営事業	35		
中学校組合負担金	37		
中学校情報教育推進事業	39		
中学校教育設備整備事業	41		
中学校就学援助事業	43		
中学校教育振興事業	45		
社会教育管理事業	47		
社会教育推進事業	49		
公民館活動推進事業	51		
高校魅力化推進事業	53		
地域学校連携事業	55		
公民館管理運営事業	57		
地区公民館管理運営事業	59		
知遊館管理運営事業	61		
文化財保護事業	63		
図書館管理運営事業	65		
三河内郷土資料室管理運営事業	67		
古墳公園管理運営事業	69		
椿文化資料館管理運営事業	71		
江山文庫管理運営事業	73		
文化財資料保存施設管理運営事業	75		
社会体育推進事業	77		
屋外体育施設管理運営事業	79		

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	放課後児童健全育成事業			事業コード	決算書頁	
				3020102	担当課	社会教育課
歳出費目	款 民生費	項 児童福祉費	目 児童福祉総務費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野4)つながりで笑顔を未来につむぐまち		分野名		
	施策名	(施策2)親子の笑顔の暮らしを応援		施策名		
根拠法令等	児童福祉法		関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	放課後等における児童の適切な保育を図る
------	---------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)	学童保育施設の適正配置・適正管理施設数	箇所	6/6	7/7	/7	/7	7(R9)
成果指標 実績/目標	利用定員(通常期)	人	225/225	275/270	/275	/310	310(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	52,083	80,930	28,847	一般財源	20,441	28,772	8,331
事業費	48,385	74,222	25,837	特定財源			
職員人件費	3,698	6,708	3,010	国支出金	11,258	21,487	10,229
(参考) 正職員	0.40	0.80	0.40	府支出金	10,957	19,736	8,779
職員数	0.00	0.18	0.18	地方債	0	0	0
				その他特定財源	9,427	10,935	1,508
				特定財源の名称	(国、府)子ども・子育て支援交付金(R5、R6)、(そ)学童保育使用料・おやつ代(R5、R6)		

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	学童保育管理運営事業	類型	一般型	中事業事業費	74,058千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円																																								
事業内容	就労等により放課後等の小学生の保育が困難な家庭に対し、適切な保育環境を提供する																																														
令和6年度の取組と成果																																															
主な取組	①学童保育所(7ヶ所)の管理運営をハーベストネクスト株式会社に委託(委託料)・・・65,865千円 ②夏季休暇時の学童保育所の運営をこどもの森保育園に委託(委託料)・・・1,735千円																																														
(1) 開設状況	施設数 7箇所(加悦、岩滝、三河内、市場、市場第二、山田、石川) 開設時間 ●通常 終業後～午後6時(延長あり) ●学期休暇期間 午前8時～午後6時(延長あり)																																														
(2) 利用状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>保育所名</th> <th>定員</th> <th>開設日数</th> <th>児童数(実数)</th> <th>児童数(年間延べ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加悦学童保育所</td> <td>70名</td> <td>272</td> <td>103</td> <td>9,350</td> </tr> <tr> <td>岩滝学童保育所</td> <td>80名</td> <td>275</td> <td>82</td> <td>10,871</td> </tr> <tr> <td>三河内学童保育所</td> <td>15名</td> <td>238</td> <td>28</td> <td>2,798</td> </tr> <tr> <td>市場学童保育所</td> <td>30名</td> <td>274</td> <td>33</td> <td>4,571</td> </tr> <tr> <td>市場第二学童保育所</td> <td>20名</td> <td>267</td> <td>25</td> <td>2,557</td> </tr> <tr> <td>山田学童保育所</td> <td>30名</td> <td>243</td> <td>29</td> <td>2,929</td> </tr> <tr> <td>石川学童保育所</td> <td>20名</td> <td>266</td> <td>39</td> <td>3,506</td> </tr> </tbody> </table>							保育所名	定員	開設日数	児童数(実数)	児童数(年間延べ)	加悦学童保育所	70名	272	103	9,350	岩滝学童保育所	80名	275	82	10,871	三河内学童保育所	15名	238	28	2,798	市場学童保育所	30名	274	33	4,571	市場第二学童保育所	20名	267	25	2,557	山田学童保育所	30名	243	29	2,929	石川学童保育所	20名	266	39	3,506
保育所名	定員	開設日数	児童数(実数)	児童数(年間延べ)																																											
加悦学童保育所	70名	272	103	9,350																																											
岩滝学童保育所	80名	275	82	10,871																																											
三河内学童保育所	15名	238	28	2,798																																											
市場学童保育所	30名	274	33	4,571																																											
市場第二学童保育所	20名	267	25	2,557																																											
山田学童保育所	30名	243	29	2,929																																											
石川学童保育所	20名	266	39	3,506																																											
(3) こどもの森保育園学童利用状況(長期休暇時)	利用状況 開設日数 45日、児童数(実数) 16人、児童数(年間延べ) 363人																																														

中事業②	学童保育施設整備事業	類型	建設・整備型	中事業事業費	164千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	学童保育所の適切な施設整備を図る						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①学童保育所整備に係る草刈り及び事前調査(委託料)・・・164千円						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三河内学童保育所整備予定地の草刈作業:65千円</li> <li>・三河内及び石川学童保育所整備の事前調査:99千円</li> </ul>						

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>学童保育の運営事業者を民間会社に変更したことで、支援員等の確保が困難な状況から、市場第二学童の開設等により定員増を実現できた。</p> <p>また、七夕、クリスマス会、節分など季節に応じた多様な行事を実施することで、児童の健全な育成に寄与している。</p> <p>保護者を対象としたアンケート調査では、全体の90%以上が「満足」または「やや満足」と回答しており、事業に対し高い評価を得ていることが確認できた。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>一つの学童保育所において、施設の物理的な制約から待機児童が発生している。</p> <p>また、運営事業費に対する保護者負担(学童保育料)の割合が低下しており、学童保育料を見直す必要がある。</p>	<p>令和7年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>三河内学童保育所及び石川学童保育所の改築を進め、受け入れ可能人数の拡充を図る。</p> <p>また、保護者等の意見も踏まえ学童保育料を見直す。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	教育委員報酬			事業コード	決算書頁	
				10010101	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 教育委員会費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境づくり		施策名		
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			関連計画等	教育大綱	

## 2. 事業の目的

事業目的	公正かつ適正に教育行政を行い、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図る
------	---

## 3. 業績指標

指 標		単 位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	教育委員会会議開催回数	回	12/12	12/12	/12	/12	12(R9)
			/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	1,991	1,991	0	特定財源	一般財源	1,991	1,991	0
	事業費	1,920	1,920	0		国支出金	0	0	0
	職員人件費	71	71	0		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.01	0.01	0.00	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
					特定財源 の名称				

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	教育委員報酬	類型	内部管理型	中事業事業費	1,920千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	学校教育、社会教育、文化、スポーツを振興する機関として、重要事項の決定、学校訪問、研修参加などを実施。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①教育委員報酬・・・1,920千円						
	① 教育委員会会議の開催	12回(定例11回 臨時1回)					
	② 総合教育会議の開催	1回					
	③ 学校訪問	11回(こども園3 小学校6 中学校2)					

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>従来より積極的な委員会活動を行っている。当町教育委員は、中学校組合の教育委員も兼務しておられる中、教育委員会定例会議並びに臨時会議の開催、学校訪問、各種連合会会議への参加など、例年どおり行った。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>本町の教育委員会は積極的に活動しており、引き続きこの活動水準を維持していくことが必要である。</p> <p>就学前、義務教育、高等教育、社会人学習といった各段階に応じて、生涯にわたる学習をサポートすることができるよう、充実した委員会活動を展開していくことが必要と考える。</p>	<p>教育委員会は、自治体に設置される合議制の執行機関であり、創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で重要な役割を担っている。</p> <p>総合教育会議の開催及び首長による教育大綱の制定など、首長の権限が拡大されているが、教育委員会は従来どおり『教育の執行機関』としての役割を果たし、『政治的中立性の確保』を図る中で、よりきめ細やかな教育行政の推進に努めていく必要がある。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	教育委員会費一般経費			事業コード	決算書頁	
				10010150	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 教育委員会費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名	(分野7)住民が主人公となるまち	
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名	(施策4)見える、聞こえる、言えるまちづくり	
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律等		関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	児童生徒への祝品支給、事務局運営に必要な経費等に係る事務の適正な執行を図る。
------	--

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	中学校入学祝品(ヘルメット)支給件数	件	100/109	99/109	/101	/101	101(R9)
	小中学校卒業祝品支給件数	件	260/260	253/253	/253	/253	253(R9)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	2,034	1,902	▲ 132	特定財源	一般財源	2,034	1,902	▲ 132
	事業費	988	970	▲ 18		国支出金	0	0	0
	職員人件費	1,046	932	▲ 114		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.11	0.10	▲ 0.01	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	教育委員会費一般経費	類型	一般型	中事業事業費	970千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	児童生徒の入学時卒業時への祝品や事務局運営に必要な経費等を支出する。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①小中学校入学時及び卒業時に児童生徒に祝品を支給(報償費)・・・672千円						
	②事務局運営に必要な経費の支出(旅費等)・・・155千円						
	③構成する各団体の活動に対する費用を負担(4団体)(負担金)・・・143千円						
<p>①【入学祝品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 入学写真 136名分</li> <li>中学校 入学写真 100名分</li> <li>令和7年度中学校入学生通学用ヘルメット 99名分※町内中学校へ入学の現6年生に支給</li> </ul> <p>【卒業祝品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校 卒業証書ファイル 133名分</li> <li>中学校 卒業記念印 120名分</li> </ul>							

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

#### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>児童生徒の入学時、卒業時に祝品を適正に支給した。また、中学校の新入生にはヘルメットを支給し、生徒の安全に対して貢献することができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>令和2年度に校長会議の協議を基に祝品の見直しを行ったが、引き続き祝品の選定に努める必要がある。</p>	<p>単なる祝品としてではなく、新入生に対しては、引き続き自転車用ヘルメット等の学校生活に必要な祝品を支給することにより、保護者の負担軽減に努めるとともに、安心安全な教育環境を整えることを目的とした祝品とする。また、卒業生に対しては母校や与謝野町に対する愛情を育む品物の選定に今後も努める。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	指導主事等設置事業			事業コード	決算書頁	
				10010203	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 事務局費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名			
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切に作る環境づくり	施策名			
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 与謝野町教育委員会指導主事設置に関する規則			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	教職員の資質向上、児童生徒の学力向上及び不登校児童生徒等の諸問題に対し適切に対応できるように教職員を指導・支援することを目指す。
------	--

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	校舎長会の開催	回	11/12	10/12	/12	/12	12(R9)
			/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	学校及び教職員への指導・助言を行うことが目的であるため、成果を数値として表わすことが困難。						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	9,629	16,028	6,399	特定財源	一般財源	9,629	16,028	6,399
	事業費	9,487	15,770	6,283		国支出金	0	0	0
	職員人件費	142	258	116		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.02	0.04	0.02	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	2.05	3.00	0.95	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	指導主事等設置事業	類型	一般型	中事業事業費	15,770千円	うち会計年度任用職員報酬等	15,697千円
事業内容	学力調査・いじめ調査等の実施、また教職員の資質向上、児童生徒の学力向上及び不登校児童生徒等の諸問題に対し適切に対応できるように教職員を指導・支援する。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①校舎長会議を毎月実施、学校訪問の実施、問題事象等の指導						
	②会議・研修に参加(旅費)・・・72千円						
<p>学校現場における課題が多様化・複雑化し、問題事象も年々増加しているが、各種調査の分析や各種部会・学校訪問を行うことで状況把握も行い、状況に応じた指導助言を実施した。</p>							

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

##### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>令和5年度から現職の教員に指導主事として出向していただき、週5日の勤務をしていただいている。このことで、令和6年度においても多岐にわたり業務を担っていただくとともに、丁寧な学校支援をしていただくことができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>指導主事の設置は、より良い学校運営に必須であるが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、「指導主事は、教育に関し識見を有し、かつ、学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項について教養と経験がある者でなければならない。」と規定されている。</p> <p>そのため、選任できる人材は限られた者となり、人材の確保が困難になっている。</p>	<p>退職予定の教員に早期依頼を行うことで、計画的に人材を確保できるよう努める。</p> <p>また、今後も現職の教諭に出向していただくことを検討する。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	教職員住宅管理事業			事業コード	決算書頁	
				10010204	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 事務局費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境づくり		施策名		
根拠法令等	与謝野町教職員住宅管理規則			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	住宅を必要とする町内小中学校の教職員に対し、低廉な家賃で住宅を供給する。
------	--------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)		/	/	/	/	/	
成果指標 実績/目標	管理戸数	戸	10/10	10/10	/10	/10	10(R9)
指標で表せない 成果・効果		/	/	/	/	/	

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	393	112	▲ 281	一般財源	▲ 1,000	▲ 712	288
事業費	38	41	3	特定財源			
職員人件費	355	71	▲ 284	国支出金	0	0	0
(参考) 正職員	0.05	0.01	▲ 0.04	府支出金	0	0	0
職員数				地方債	0	0	0
会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	1,393	824	▲ 569
				特定財源 の名称	教職員住宅使用料		

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	教職員住宅管理事業	類型	一般型	中事業事業費	1,686千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	住宅を必要とする町内小中学校の教職員に対し、低廉な家賃で住宅を供給する。						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①共用廊下、外灯の電気代の支払い(需用費)・・・12千円
	②建物災害共済分担金(役務費)・・・29千円



加悦教職員住宅



岩滝教職員住宅

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

##### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>近年は一般教職員の入居希望が無く、入居者はALTのみとなっている。建築当初の目的は一定果たされたものと考えられる。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>民間住宅が町内に充実していることから教職員住宅のニーズは低いまま推移していくと考えられる。 空き家期間が長期化すると家屋の老朽化が加速することが予想され、維持管理のための修繕や取壊しにも多額の費用を要することになるため、解体・転用等を全庁的に早期に検討しなければならない。</p>	<p>教職員住宅のニーズは低く、ALTの入居のみとなっていたがそのALTもR5年度の新規来日者から民間住宅に入居。(既入居者はそのまま) 住宅という公共施設の存廃を企画財政課・総務課が中心となり、他課が保有する全ての住宅とあわせて教職員住宅のあり方を検討し、不要なものは廃止・譲渡、利活用できるものは維持・転用するという選択が必要である。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	事務局費一般経費			事業コード	決算書頁	
				10010250	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 事務局費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名		
	施策名	(施策3)未来を見据えた行財政運営		施策名		
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	教育の目指すべき方向性について議論を深め、更なる教育環境の充実を図る。
------	-------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	事務事業評価委員会の開催	回	3/3	3/3	/3	/3	3(R9)
	いじめ会議の開催	回	2/2	2/2	/2	/2	2(R9)
成果指標 実績/目標	事務事業の評価	事業	59/59	45/45	/45	/45	45(R9)
	指標で表せない 成果・効果		/	/	/	/	/

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	4,753	5,850	1,097	特定財源	一般財源	4,753	5,850	1,097
	事業費	4,682	5,850	1,168		国支出金	0	0	0
	職員人件費	71	0	▲ 71		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.01	0.00	▲ 0.01	地方債	0	0	0	
職員数	会計年度任用職員	0.97	1.00	0.03	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	事務局費一般経費	類型	内部管理型	中事業事業費	5,850千円	うち会計年度任用職員報酬等	3,990千円
事業内容	教育委員会事務局の運営と公用車等の維持管理を行う。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①学校事務支援システム保守・・・317千円						
	②公用車の維持管理・・・655千円(リース・修繕・損害保険など)						
	③各種会議の開催・・・51千円(いじめ防止対策推進委員会、いじめ問題対策連絡会議、事務事業評価委員会)						
○学校事務システム : 就学援助費・就学奨励費・就学前健診事務に係るシステム							
○公用車 : 普通車1台、軽自動車3台、スクーター1台							

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>前年度に引き続き、各種会議を開催し情報共有やご意見をいただくことができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>その時代に求められる教育ニーズを把握し、教育環境の充実を図る必要がある。</p>	<p>これからの教育の目指すべき方向性や様々な教育課題について、議論を深め学ぶ必要があるため、積極的に協議会に参加し、情報交換や意見交換を行ない、教育環境の充実を図る。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	奨学資金貸付事業			事業コード	決算書頁	
				10010301	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名		
根拠法令等	与謝野町奨学資金貸与条例、与謝野町奨学資金貸与条例施行規則			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	大学などに修学する生徒の経済的負担の軽減を図る
------	-------------------------

## 3. 業績指標

指 標	単 位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)						
成果指標 実績/目標	制度利用者数	人	3/4	3/4	/4	/4
指標で表せない 成果・効果						7(R9)

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	1,556	1,483	▲ 73	一般財源	284	214	▲ 70
事業費	1,272	1,269	▲ 3	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	284	214	▲ 70		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.04	0.03	▲ 0.01		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	1,272	1,269
				特定財源 の名称	(そ)奨学資金貸付金償還金(R5、R6)		

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	奨学資金貸付事業	類型	一般型	中事業事業費	1,269千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円																							
事業内容	大学などに修学する生徒に対し、学業に要する費用の一部を、在学期間中について年4回に分けて貸与する																													
令和6年度の取組と成果																														
主な取組	①奨学金の貸し付け(貸付金)・・・1,260千円																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">奨学金の貸し付け</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>奨学生決定</th> <th>貸与額</th> <th>償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6年度</td> <td>2人</td> <td>840千円</td> <td>2,615千円</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>0人</td> <td>1,260千円</td> <td>2,615千円</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>1人</td> <td>2,100千円</td> <td>5,500千円</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>1人</td> <td>2,520千円</td> <td>4,771千円</td> </tr> </tbody> </table>							奨学金の貸し付け				年度	奨学生決定	貸与額	償還額	6年度	2人	840千円	2,615千円	5年度	0人	1,260千円	2,615千円	4年度	1人	2,100千円	5,500千円	3年度	1人	2,520千円
奨学金の貸し付け																														
年度	奨学生決定	貸与額	償還額																											
6年度	2人	840千円	2,615千円																											
5年度	0人	1,260千円	2,615千円																											
4年度	1人	2,100千円	5,500千円																											
3年度	1人	2,520千円	4,771千円																											
<p>制度概要など</p> <p>①奨学生決定(継続者含む): 町広報紙・HP等で募集、新規は奨学資金貸与審査委員会へ諮り決定</p> <p>②貸与金額: 月額35,000円</p> <p>③貸与方法: 年4回に分けて貸与(5・7・10・1月)</p> <p>④償還期間: 10年償還</p>																														

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		<p>経済的負担により、学業に専念することに不安のある生徒に無利息の奨学金を貸与し、学業に専念する手助けをすることができた。</p>
大きく向上した。		
向上した。		
前年度の水準に留まった。	○	
前年度の水準を下回った。		
事業の課題		令和7年度以降における課題解決に向けた方向性
貸付金の債権管理は私債権となるため、税金などと比べて強制執行力がなく、債権管理が困難となる場合があり、未償還者の債権管理が課題となっている。		未償還者へのアプローチを継続して行い、未償還金の減少を図る。

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	不登校等対策事業			事業コード	決算書頁	
				10010302	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境づくり		施策名		
根拠法令等	与謝野町教育支援センター要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	不登校又はその傾向にある児童生徒の学校復帰のみならず社会的自立を目指す
------	-------------------------------------

## 3. 業績指標

指標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	通所指導・登校支援・帰宅支援・家庭訪問支援	回	397/250	147/250	/250	/250	250(R9)
成果指標 実績/目標	通所者又は保護者の満足度割合	%	100/100	100/100	/100	/100	100(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	9,479	11,688	2,209	特定財源	一般財源	6,451	8,075	1,624
	事業費	7,764	9,990	2,226		国支出金	0	0	0
	職員人件費	1,715	1,698	▲17		府支出金	3,028	3,613	585
(参考)	正職員	0.20	0.20	0.00	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	2.14	2.40	0.26	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源の名称	(府)きょうと地域連携交付金(R5、R6)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	教育支援センター事業	類型	一般型	中事業事業費	9,990千円	うち会計年度任用職員報酬等	9,854千円
事業内容	不登校又はその傾向にある児童生徒に対し、学校復帰・社会的自立に向けた支援を行う教育支援センターを設置する						

### 令和6年度の取組と成果

- 主な取組
- ①運営委員会の開催(委員等謝礼)・・・3千円
  - ②調理実習・野菜づくりなど(消耗品費)を実施・・・81千円

- ・通所者 小学生延べ人数 80人  
中学生の延べ人数 56人
- ・家庭訪問支援 6回



## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		<p>通所生は減少となったものの、令和6年度についても自分達が収穫した野菜などを使った調理実習を一緒に行うなど、色々な体験をさせることができた。また、通所者の事情を考慮し知遊館での出張支援も実施することができた。</p>
大きく向上した。		
向上した。	○	
前年度の水準に留まった。		
前年度の水準を下回った。		
事業の課題		令和7年度以降における課題解決に向けた方向性
<p>不登校は、心理的要因のほか、発達の課題、家庭環境等要因となる要素は様々である。このため、スクールカウンセラーやソーシャルスキルワーカー等の専門家による児童生徒や保護者への面談等の機会の拡充を図るほか、学校との連携強化が必要である。</p>		<p>各学校のスクールカウンセラー等との連携を強化するとともに、専門家であるドクターにも支援のあり方を相談することができるような体制を引き続き築きながら支援を行う。</p>

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	学校教育振興事業			事業コード	決算書頁	
				10010303	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切に作る環境づくり		施策名		
根拠法令等	与謝野町学校教育関係補助金交付要綱 与謝野町特別支援学校就学援助補助金要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	学校におけるICT機器等の維持管理や各種取組等への支援を行う
------	--------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	申請された特別支援学校就学援助への補助金交付	%	100/100	100/100	/100	/100	100(R9)
成果指標 実績/目標	校務に大きな影響が出るICTトラブルの発生	回	0/0	0/0	/0	/0	0(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	15,786	24,091	8,305	特定財源	一般財源	14,938	20,942	6,004
	事業費	15,248	22,921	7,673		国支出金	528	352	▲ 176
	職員人件費	538	1,170	632		府支出金	320	2,797	2,477
(参考)	正職員	0.10	0.24	0.14	地方債	0	0	0	
	職員数	0.97	1.00	0.03	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源の名称	(国)公立学校情報機器整備補助金(R5、R6)、(府)地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業補助金(R5、R6)、(府)きょうと地域連携交付金(R6)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	学校教育振興事業	類型	一般型	中事業事業費	22,921千円	うち会計年度任用職員報酬等	4,116千円
事業内容	各小中学校にICT機器の整備と安心安全なネットワーク環境を構築する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①ICT機器の維持管理を実施(委託料、使用料及び賃借料)・・・13,593千円 ②学校が取り組む各種事業に要する費用を支援(補助金)・・・2,245千円 ③スクールガードリーダーによる登下校時の見守り活動を実施(報酬費)・・・537千円						
	・ICT機器 パソコン等リース料・・・4,624千円 ICT機器保守料・・・1,940千円 ブレイクアウトネットワーク構築委託料・・・7,029千円						
	・各種補助金 特色ある学校づくり補助金・・・789千円      ふるさとの自然、歴史や伝統、文化など地域の特色を生かした学校づくりに対する補助 特別支援学校就学援助補助金・・・135千円      特別支援学校に通う児童生徒の保護者負担軽減のための補助金(27人) 町教育研究会補助金・・・1,301千円      演劇的手法を取り入れたコミュニケーション授業(小学校3校、中学校1校)						
	・スクールガードリーダー事業 謝礼・・・537千円 スクールガードリーダーとして2名の警察OBの方を委嘱し、児童の登下校に付き添い、各校の通学路の危険箇所等を確認して声掛けをするなど、児童の安心安全を身近で守っていただいている。特に通学路上の危険箇所、不審者情報があった際の見守り活動においては、警察としての長年のキャリアに裏付けされた経験則により、的確に対処いただいている。						

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		
大きく向上した。		<p>ICT環境の整備においては、各学校のネットワークを改修し通信環境の整備を実施した。演劇的手法を取り入れたコミュニケーション授業(教育研究会補助金事業)について、小中学校で4回の取り組みがあった。</p>
向上した。		
前年度の水準に留まった。	○	
前年度の水準を下回った。		
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性	
ICT機器は、日進月歩の進化を遂げるため、環境に適したICT環境を構築するために日々動向を確認する必要がある。	令和7年度では、GIGAスクール構想第2期に向けタブレット等の更新を実施する。また、その後においても引き続きICT環境の整備を実施する。	

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	ALT事業			事業コード	決算書頁	
				10010401	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 教育総務費	目 外国青年招致費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名		
根拠法令等				関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	外国語指導助手(ALT)を活用した小中学校における英語教育の推進及び地域における国際理解教育の推進を図る。
------	---

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	ALTによる年間学校訪問数	回	595/500	595/500	/500	/500	500(R9)
	外国語指導助手(ALT)人数	人	3/3	3/3	/3	/3	3(R9)
成果指標 実績/目標	授業における満足度割合	%	100/100	100/100	/100	/100	100(R9)
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	15,251	13,954	▲ 1,297	特定財源	一般財源	15,251	13,954	▲ 1,297
	事業費	12,335	12,380	45		国支出金	0	0	0
	職員人件費	2,916	1,574	▲ 1,342		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.47	0.25	▲ 0.22	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	3.18	2.80	▲ 0.38	その他特定財源	0	0	0	
					特定財源 の名称				

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	ALT事業	類型	一般型	中事業事業費	12,380千円	うち会計年度任用職員報酬等	11,550千円
事業内容	ALTを配置し、小中学校における英語教育及び地域における国際理解教育を行う。						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ALTの傷害保険料(役務費)・・・89千円</li> <li>JETプログラム人員割を負担(負担金、補助及び交付金)・・・632千円</li> </ul>
------	---



中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>令和6年度も新規ALTを受け入れることができたので、令和5年度に引き続き充実した英語教育を児童生徒に提供することができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>ALT個人毎の差があり、日本に馴染みやすいALT、馴染めずに短期間で帰国するALTと差がある。 また、ALT個人の都合により1～2年程度で日本での生活や学校の授業に馴染む前に帰国するALTが多いということも事業の課題として挙げられる。</p>	<p>令和6年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>ALTが与謝野町で過ごしやすい環境(学校内含む)を構築し、ALTの入れ替え数を減らす。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	小学校管理運営事業			事業コード	決算書頁	
				10020102	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 学校管理費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境づくり		施策名		
根拠法令等	学校保健安全法、同施行規則			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	安心・安全な教育環境を確保する。
------	------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	心臓健診(1次健診)受診率	%	99/100	100/100	/100	/100	100(R9)
	消防設備点検実施校	校	6/6	6/6	/6	/6	100(R9)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	児童が安心・安全に教育を受けられる環境の整備						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	154,631	176,259	21,628	特定財源	一般財源	153,894	174,323	20,429
	事業費	150,937	171,466	20,529		国支出金	0	0	0
	職員人件費	3,694	4,793	1,099		府支出金	0	1,274	1,274
(参考)	正職員	0.50	0.66	0.16	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	23.49	26.01	2.52	その他特定財源	737	662	▲ 75	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	(府)きょうと地域連携交付金(小規模市町村連携)、 (他)日本スポーツ振興センター保護者負担金、小学校 施設使用料			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	小学校維持管理事業	類型	施設管理型	中事業事業費	115,668千円	うち会計年度任用 職員報酬等	38,685千円
事業内容	小学校6校の施設管理と保健管理(健康診査等)等を行う。						
令和6年度の取組と成果							
主な 取組	①学校施設等の不具合箇所の改善を実施(修繕料)・・・4210千円						
	②学校医、学校歯科医、学校薬剤師による児童の検診等を実施(報酬)・・・5,192千円						
	③スクールバスの運行等(報酬、需用費、役務費等)・・・15,368千円						
<p>① 学校施設の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プール修繕(1,908千円)</li> <li>岩滝小学校プールろ過フィルター取替修繕(745千円)</li> <li>山田小学校プールろ過ポンプ取替修繕(704千円)</li> </ul> <p>② 学校医(5名)・・・児童の内科検診(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校歯科医(4名)・・・児童の歯科検診(1学期・2学期)</li> <li>学校薬剤師(3名)・・・学校環境衛生の維持管理に係る指導・助言(二酸化炭素濃度測定、教室の照度測定等)</li> </ul> <p>③ スクールバス運行等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイクロバス3台で加悦小学校の遠距離通学となる児童の登下校時の送迎を実施</li> <li>対象児童(R6.4.1):113人</li> <li>スクールバスを活用し校外学習等への送迎を実施</li> <li>定期外運行回数 345回(1・2・3号車のみ)</li> </ul>							
				1号車(青色バス)	2号車(赤色バス)	3号車(黄色バス)	

中事業②	特別支援員等設置事業	類型	一般型	中事業事業費	55,798千円	うち会計年度任用職員報酬等	55,798千円												
事業内容	特別な支援を必要とする児童に対し、当該児童の学校での生活面や学習面でのサポートを行うため、特別支援教育支援員を配置する。																		
令和6年度の取組と成果																			
主な取組	①特別支援教育支援員を配置(報酬等)・・・55,798千円																		
<p>町立6小学校に29名の特別支援教育支援員を配置</p> <table border="0"> <tr><td>加悦小学校</td><td>8名</td></tr> <tr><td>岩滝小学校</td><td>8名</td></tr> <tr><td>石川小学校</td><td>2名</td></tr> <tr><td>三河内小学校</td><td>5名</td></tr> <tr><td>市場小学校</td><td>3名</td></tr> <tr><td>山田小学校</td><td>3名</td></tr> </table>								加悦小学校	8名	岩滝小学校	8名	石川小学校	2名	三河内小学校	5名	市場小学校	3名	山田小学校	3名
加悦小学校	8名																		
岩滝小学校	8名																		
石川小学校	2名																		
三河内小学校	5名																		
市場小学校	3名																		
山田小学校	3名																		

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>【小学校維持管理事業】  学校施設の修繕等については、優先順位の高いものから取り組むことができた。  児童の健康診断を実施し、再検査が必要な児童には二次検診の実施、又は病院受診の勧奨を行った。  スクールバスについては、1年間を通して、安心安全な運行ができた。</p> <p>【特別支援員等設置事業】  適切な人材を配置し、特別な支援を必要とする児童への生活・学習への丁寧な支援を行った。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>学校施設は築40年以上が経過し、老朽化が著しく修繕内容も多岐にわたっており、それに伴い費用も増大している。</p> <p>児童や保護者に対し、健康診断の意義や目的等について周知し、実施しているが、全ての児童の受診には至っていない。</p>	<p>各校から上がってくる要望全てに対応することは困難であるため、引き続き優先順位の高いものから修繕を行っていく。</p> <p>児童の各疾患を早期に発見し、安心安全な学校生活を送れるよう、引き続き健康診断の意義や目的等について周知を行い、未受診の児童については、学校医等と連携し受診できるよう努めていく。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	小学校施設整備事業			事業コード	決算書頁	
				10020103	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 学校管理費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切に作る環境づくり		施策名		
根拠法令等				関連計画等	学校施設長寿命化計画	

## 2. 事業の目的

事業目的	よりよい教育環境を維持するため、小学校施設及び整備の維持並びに機能向上に伴う施設の改修を行う
------	--

## 3. 業績指標

指 標	単 位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)							
成果指標 実績/目標	空調機整備率	%	99/100	99/100	/100	/100	100(R9)
	トイレ洋式化率	%	54/100	54/100	/100	/100	100(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較	
総事業費	53,689	8,951	▲ 44,738	一般財源	8,889	3,251	▲ 5,638	
事業費	51,768	6,468	▲ 45,300	特定財源	国支出金	0	0	
職員人件費	1,921	2,483	562		府支出金	0	0	
(参考) 正職員	0.25	0.31	0.06		地方債	44,800	5,700	▲ 39,100
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0	0
				特定財源 の名称	(地)地方債(R5、R6)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	小学校施設整備事業	類型	施設管理型	中事業事業費	6,468千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	校舎屋根や老朽化した教室の床等を改修する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①三河内小学校屋内運動場屋根等改修工事設計業務(委託料)・・・2,328千円						
	②小学校空調設備更新工事(市場小・三河内小・石川小)(工事請負費)・・・2,646千円						
	③市場小学校給配水系統改修工事(工事請負費)・・・1,494千円						
<p>①三河内小学校屋内運動場及び岩滝小学校特別教室棟の屋根改修に係る設計業務一式 2,328千円</p> <p>②老朽化した各学校の空調設備更新工事  市場小学校職員室空調設備更新工事 973千円  三河内小学校職員室空調設備更新工事 566千円  石川小学校職員室・保健室空調設備更新工事 1,107千円</p> <p>③市場小学校給配水系統改修工事 1,494千円  老朽化により故障した市場小学校の受水槽バルブ修繕及び上水道直圧切替工事</p>							

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		左記の具体的説明
大きく向上した。		老朽化した小学校(市場・三河内・石川)の職員室等の空調設備の更新及び市場小学校の受水槽バルブ修繕が実施できた。
向上した。	○	
前年度の水準に留まった。		
前年度の水準を下回った。		
事業の課題		令和7年度以降における課題解決に向けた方向性
<p>建築後40年以上が経過する学校施設は各所で不具合が生じていることから、改修には多額の費用と時間を要することになる。</p>		<p>長寿命化計画に基づき計画的に改修を行い、費用の平準化を図る。</p>

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	自校給食管理運営事業			事業コード	決算書頁	
				10020104	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 学校管理費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にする環境づくり		施策名		
根拠法令等	学校給食法			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、適切な栄養摂取による健康保持・増進と望ましい食習慣を養うとともに、学校生活における食育の推進・充実を図る。
------	---

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	残菜量の削減		106/76	102/90	/90	/85	/
			/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	栄養バランスの取れた食事を提供するのが目的のため、成果を数値として表すのは困難。						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	34,902	37,036	2,134	特定財源	一般財源	22,138	24,831	2,693
	事業費	27,513	30,230	2,717		国支出金	0	0	0
	職員人件費	7,389	6,806	▲ 583		府支出金	328	0	▲ 328
(参考)	正職員	1.09	1.04	▲ 0.05	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	3.62	3.35	▲ 0.27	その他特定財源	12,436	12,205	▲ 231	
					特定財源 の名称				

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	自校給食管理運営事業	類型	一般型	中事業事業費	30,231千円	うち会計年度任用職員報酬等	13,293千円
------	------------	----	-----	--------	----------	---------------	----------

事業内容	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、適切な栄養摂取による健康保持・増進と望ましい食習慣を養うとともに、学校生活における食育の推進・充実を図る。
------	---

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①給食調理業務・・・16,532千円
	②施設設備の維持管理・・・406千円

- ・給食だより・献立表(年11回)、給食指導(年3回)
- ・年間実施回数:186回 実施人数:47,095食



給食献立



調理状況 ①



調理状況 ②

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>令和6年度と同様に継続した事業実施ができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>厨房機械の老朽化に伴い、修繕費用も増加している。</p> <p>またコロナウイルス感染症から残菜量が増えて来ている状況が続いている</p>	<p>丹後管内の食材使用率については50パーセント近くであり、また地元業者を優先に、今後とも増やして行きたい。</p> <p>また給食指導については、栄養教諭を中心に始め各教員の指導のもと、給食を通して子どもたちの礼儀作法・生活規律等を養って行きます。</p> <p>今後については献立の改良や調理の工夫等を行いながら、残菜量の減少に努めたい。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	小学校情報教育推進事業			事業コード	決算書頁	
				10020201	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名		
根拠法令等				関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	ICT機器の活用による情報理解教育の推進を図る。
------	--------------------------

## 3. 業績指標

指 標	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)		/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標		/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	ICT機器の整備、消耗品等を購入し、児童へのICT教育推進を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。					

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	3,372	4,022	650	一般財源	3,372	4,022	650
事業費	1,469	1,759	290	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	1,903	2,263	360		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.21	0.30	0.09		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0
				特定財源 の名称	0		

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	小学校情報教育推進事業	類型	一般型	中事業事業費	1,759千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	ICT機器の整備、消耗品等を購入し、児童のICT教育環境を整える。						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①PC教室用ウイルスバスターライセンスを購入(需用費)・・・436千円	④充電保管庫修繕・・・114千円
	②コピー用紙を購入(需用費)・・・230千円	⑤タブレット関連機器購入(AppleTV)・・・79千円
	③プリンターインク・トナー その他を購入(需用費)・・・900千円	

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

##### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		前年度に引き続き、児童がICT機器を使用することができる環境の維持・向上に努めた。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
国のGIGAスクール構想により、各学校に配備されたタブレット型端末と並行して、どのようにその他のICT機器を有効活用していくのが今後の大きな課題である。	タブレット型端末と並行してその他のICT機器を有効活用する。また、学習指導要領の改定によりプログラミング教育が導入されることに加え、GIGAスクール構想によりICT機器の活用推進を行う必要があるため、これに向けての授業研究・教職員研修及び必要機器の予算化が必要である。								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	小学校教育設備整備事業			事業コード	決算書頁
				10020202	担当課 学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	施策名		
根拠法令等	理科教育設備整備費等補助金交付要綱、理科教育振興法		関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	教材の整備率の向上と教育設備の充実を図る。
------	-----------------------

## 3. 業績指標

指標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	理科教育備品の整備率	%	80.7/100	80.4/100	/100	/100	100/R9
	算数教育備品の整備率	%	184/100	180.9/100	/100	/100	100/R9
成果指標 実績/目標		年	/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	3,371	2,146	▲ 1,225	特定財源	一般財源	2,151	1,554	▲ 597
	事業費	2,833	1,568	▲ 1,265		国支出金	1,220	592	▲ 628
	職員人件費	538	578	40		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.10	0.10	0.00	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	理科教育設備整備費等補助金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	小学校教育設備整備事業	類型	一般型	中事業事業費	1,568千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	理科、算数に関する教育を実施するための設備等を整備し、理科教育の理解を図る。						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①ステンレス製薬品庫を購入(教材費)・・・295千円	④プログラミングスイッチを購入(教材費)・・・213千円
	②センサー式酸素・二酸化炭素測定機を購入(教材費)・・・381千円	
	③サイエンススタンドを購入(教材費)・・・121千円	



ステンレス製薬品庫



センサー式酸素・二酸化炭素測定機



サイエンススタンド



プログラミングスイッチ

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

##### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>学校における理科や算数の教育に必要な設備・備品を整備することができた。また、使わなくなったり壊れた備品等については適宜廃棄を進めたため、整備率は前年度水準に留まった。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>財政状況が厳しい中で、必要な設備を精選し、計画的・効果的に整備を進めること。</p> <p>補助金を活用し整備を進めてはいるが、財政状況が厳しいため最低限整備すべき設備の品目、性能等を検討し、効率的に整備を進めることが重要である。</p>	<p>ICT環境の整備が進む中で、タブレット端末付き顕微鏡のように技術革新を踏まえた教材の導入を重点的に整備することも検討し、学校の実情に応じて必要な設備を計画的に整備していくことが重要である。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	小学校就学援助事業			事業コード	決算書頁	
				10020203	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切に作る環境づくり		施策名		
根拠法令等	学校教育法第19条、与謝野町就学援助規則 特別支援学校への就学奨励に関する法律、施行令、規則			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	各種支援を行うことにより、教育の機会を均等に与えることを目的とする。
------	------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	就学援助費の支給	回	4/4	4/4	/4	/4	4(R9)
	特別支援教育就学奨励費の支給	回	3/3	3/3	/3	/3	3(R9)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	教育の機会を均等に与えることが目的であるため、成果を数値として表すことが困難である。						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	13,156	12,344	▲ 812	特定財源	一般財源	12,834	12,112	▲ 722
	事業費	11,029	10,202	▲ 827		国支出金	322	232	▲ 90
	職員人件費	2,127	2,142	15		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.30	0.30	0.00	地方債	0	0	0	
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	特別支援教育就学奨励費補助金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	小学校就学援助事業	類型	義務型	中事業事業費	10,202千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	就学困難と認められる児童及び障がいのある児童の保護者に対し、就学に必要な経費を支給する。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①就学援助認定児童の保護者に就学援助費を支給(年4回)・・・9,271千円						
	②小学校入学予定の児童の保護者に新入学学用品費等を入学前に支給・・・456千円						
	③特別支援学級に在籍する児童の保護者に特別支援教育就学奨励費を支給(年3回)・・・475千円						
<p>① 就学援助費支給費目・・・学用品費、通学用品費、新入学学用品費等、校外活動費、給食費、PTA会費、クラブ活動費、修学旅行費 卒業アルバム代等 小学校在籍児童数に対する認定率(年度末)・・・ 16.9%</p> <p>② 就学援助費の支給費目のうち新入学学用品費等の入学前支給件数・・・ 8件</p> <p>③ 特別支援教育就学奨励費支給費目・・・学用品費・通学用品費、新入学学用品費・通学用品費、給食費、校外活動費、修学旅行費 認定人数・・・20人/38人</p>							

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>就学困難と認められる児童及び障がいのある児童の保護者に対して、就学に必要な経費を支給(就学奨励費については一部支給)した。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>教育の機会を均等に与えることを目的とした事業であり、今後も継続して実施する必要がある。</p>	<p>就学援助費及び特別支援教育就学奨励費について、一定制度の周知はできているが、家計の急変等家庭状況の変化により援助が必要となる家庭に対しても、様々な広報媒体を活用し、また、学校事務職員とも連携し、事業の周知に努める。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	小学校教育振興事業			事業コード	決算書頁	
				10020204	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 小学校費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名			
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成	施策名			
根拠法令等	与謝野町学校教育関係補助金交付要綱		関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	各小学校に必要なとなる教材等を整備するほか、保護者の負担軽減を図る。
------	------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	学校満足度調査の実施	回	2/2	2/2	/2	/2	2(R9)
	学力検査の実施	回	1/1	1/1	/1	/1	1(R9)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	各種教材の整備や保護者の負担軽減						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	21,469	16,938	▲ 4,531	特定財源	一般財源	21,469	16,938	▲ 4,531
	事業費	21,114	15,925	▲ 5,189		国支出金	0	0	0
	職員人件費	355	1,013	658		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.05	0.18	0.13	地方債	0	0	0	
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	小学校教育振興事業	類型	一般型	中事業事業費	15,925千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	各小学校に必要なとなる教材等を整備するほか、保護者の負担軽減のため各種補助金を交付する。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①学校満足度調査・学力検査を実施(需用費)・・・1,485千円			④タブレットの教材ライセンスを購入(需用費)・・・2,397千円			
	②各学校の校外活動等に要する費用の一部を支援(補助金)・・・1,476千円			⑤コピー用紙、インク代などの消耗品費を購入(需用費)・・・4,622千円			
組	③教師用指導書を購入(需用費)・・・1,559千円			⑥図書・教材を整備(備品購入費)・・・3,615千円			
	●学校満足度調査(480円×全児童対象に年2回実施)、学力検査(390円/1教科×全児童を対象に国語・算数を年1回実施)						
※いづれも町独自							
●学校教育関係補助金							
・校外活動費補助金・・・259千円							
・芸術鑑賞費補助金・・・178千円							
・ヘルメット購入補助金・・・168千円							
・修学旅行補助金・・・501千円							
・陸上記録会補助金・・・289千円							
・修学旅行キャンセル料等補助金・・・80千円							
●教科書改訂に伴い教師用の指導書(1～6年生分)を購入							
●バス借上料(5年生の社会見学など)							
●図書の購入 680冊・セット							

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>教科書改訂に伴って教師用指導書を更新することができた。その他事業については、継続した事業実施ができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>タブレットの活用が本格化していく中で、アプリ経費の増、また教科書・教材のデジタル化も進んでおり、今後の費用負担が増加しないよう取組む必要がある。</p>	<p>国・府の各種補助金等を活用することで、町財政にも保護者にも負担にならないよう継続して支援の実施を行う。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	中学校管理運営事業			事業コード	決算書頁
				10030102	担当課 学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 学校管理費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切に作る環境づくり	施策名		
根拠法令等	学校保健安全法、同施行規則		関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	安心・安全な教育環境を確保する。
------	------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	心臓健診(1次健診)受診率	%	98/100	100/100	/100	/100	100(R9)
	消防設備点検実施数	校	2/2	2/2	/2	/2	100(R9)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	児童が安心・安全に教育を受けられる環境の整備						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	59,809	66,414	6,605	特定財源	一般財源	59,615	66,250	6,635
	事業費	51,390	56,417	5,027		国支出金	0	0	0
	職員人件費	8,419	9,997	1,578		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	1.24	1.48	0.24	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	6.77	6.40	▲ 0.37	その他特定財源	194	164	▲ 30	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	日本スポーツ振興センター保護者負担金、小学校施設 使用料			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	中学校維持管理事業	類型	施設管理型	中事業事業費	36,312千円	うち会計年度任用 職員報酬等	3,857千円
事業内容	中学校2校の施設管理と保健管理(健康診査等)を行う。						
令和6年度の取組と成果							
主な 取組	①学校施設の不具合箇所の改善を実施(需用費)・・・14,313千円						
	②学校医、学校歯科医、学校薬剤師等による生徒の検診等を実施(報酬)・・・17,894千円						
③パソコン等リース料(使用料及び賃借料)・・・5,596千円							
<p>① 学校施設の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加悦中学校空調機修繕(43千円)</li> <li>加悦中学校防火扉修繕(48千円)</li> <li>江陽中学校屋外トイレ修繕(58千円)</li> <li>江陽中学校黒板吹付塗裝修繕(99千円)</li> </ul> <p>② 学校医(2名)・・・生徒の内科検診(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校歯科医(2名)・・・生徒の歯科検診(1学期)</li> <li>学校薬剤師(2名)・・・学校環境衛生の維持管理に係る指導・助言(二酸化炭素濃度測定、教室の照度測定等)</li> </ul> <p>③ 事務機器の借上げ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員室パソコン機器リース(4,426千円)</li> <li>校務支援システム(317千円)</li> </ul>							

中事業②	特別支援員等設置事業	類型	一般型	中事業事業費	20,105千円	うち会計年度任用職員報酬等	20,105千円
事業内容	特別な支援を必要とする児童に対し、当該児童の学校での生活面や学習面でのサポートを行うため、特別支援教育支援員を配置する。また、生徒・保護者の心の健康をサポートするため、心の教育相談員を配置する。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①特別支援教育支援員等を配置(報酬等)・・・20,105千円						
町立2中学校に9名の特別支援教育支援員、心の教育相談員を配置							
		特別教育支援員	心の教育相談員				
	加悦中学校	4名	1名				
	江陽中学校	3名	1名				

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>【中学校維持管理事業】</p> <p>予算執行に当たっては優先順位の高いものから取り組むことができた。</p> <p>生徒の健康診断を実施し、再検査が必要な生徒には二次検診の実施、又は病院受診の勧奨を行った。</p> <p>【特別支援員等設置事業に】</p> <p>適切な人材を配置し、特別な支援を必要とする児童への生活・学習への丁寧な支援や、悩みごとを抱える生徒・保護者への支援を行った。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>江陽中学校については、築30年以上が経過し、漏水など経年劣化による修繕が多くあり、費用も増加している。</p> <p>生徒や保護者に対し、健康診断の意義や目的等について周知し、実施しているが、全ての生徒の受診には至っていない。</p>	<p>緊急性・必要性などを考慮し、修繕箇所を決定していく。</p> <p>生徒の各疾患を早期に発見し、安心安全な学校生活を送れるよう、引き続き健康診断の意義や目的等について周知を行い、未受診の生徒については、学校医等と連携し受診できるよう努めていく。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	中学校組合負担金			事業コード	決算書頁	
				10030104	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 学校管理費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切に作る環境づくり		施策名		
根拠法令等	与謝野町宮津市中学校組合条例			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	安全で快適な学校経営を行うための組合運営がされるよう分担金を拠出する。
------	-------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標	単 位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)		/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標		/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	安全で快適な学校経営					

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	85,437	86,994	1,557	一般財源	47,952	47,860	▲ 92
事業費	84,728	86,280	1,552	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	709	714	5		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.10	0.10	0.00		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	37,485	39,134
				特定財源 の名称	交付税 ⑤37,485、⑥39,134		

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	中学校組合負担金	類型	内部管理型	中事業事業費	86,280千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	安全で快適な組合立学校の運営がされるよう、交付税算入分並びに町市分担金分の区分で運営経費を支出。						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	① 交付税算入分(経常経費)	・・・39,134千円
	② 町分担金	・・・47,146千円

### ○ 市町負担金案分率

交付税分を控除後の組合立中学校の運営経費を前年度の5月1日在籍生徒数で与謝野町と宮津市で按分している。

年度	基準年月日	按分率			生徒数(人)		
		与謝野町	宮津市	合計	与謝野町	宮津市	合計
6年度	R5.5.1	0.62222	0.37778	1.0	140	85	225.0
5年度	R4.5.1	0.61504	0.38496	1.0	139	87	226.0
4年度	R3.5.1	0.57676	0.42324	1.0	139	102	241.0

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>組合立中学校の運営に必要な経費を負担し、安全で快適な学校経営に資することができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>中学校組合の運営経費を拠出するための事業であり、町の経費削減努力には限界がある。中学校組合において、学校、宮津市とも協議しながら効率的な運営に取り組む必要がある。</p>	<p>今後は老朽化により修繕等が必要な学校施設について計画的に整備を実施する。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	中学校情報教育推進事業			事業コード	決算書頁	
				10030201	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名		
根拠法令等				関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	ICT機器の活用による情報理解教育の推進を図る。
------	--------------------------

## 3. 業績指標

指 標	単 位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)		/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標		/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	ICT機器の整備、消耗品等を購入し、生徒へのICT教育推進を行うことが目的であるため、成果を数値として表すことが困難。					

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	2,475	2,908	433	一般財源	2,475	2,908	433
事業費	572	645	73	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	1,903	2,263	360		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.21	0.30	0.09		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0
				特定財源 の名称	0		

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	中学校情報教育推進事業	類型	一般型	中事業事業費	645千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	ICT機器の整備、消耗品等を購入し、生徒のICT教育環境を整える。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①PC教室用ウイルスバスターライセンスを購入(需用費)・・・238千円 ②プリンターインク・トナー その他を購入(需用費)・・・406千円						

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

##### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		前年度に引き続き、生徒がICT機器を使用することができる環境の維持・向上に努めた。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
国のGIGAスクール構想により、各学校に配備されたタブレット型端末と並行して、どのようにその他のICT機器を有効活用していくのが今後の大きな課題である。	タブレット型端末と並行してその他のICT機器を有効活用する。また、学習指導要領の改定によりプログラミング教育が導入されることに加え、GIGAスクール構想によりICT機器の活用推進を行う必要があるため、これに向けての授業研究・教職員研修及び必要機器の予算化が必要である。								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	中学校教育設備整備事業			事業コード	決算書頁	
				10030203	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名		
根拠法令等	理科教育設備整備費等補助金交付要綱、理科教育振興法			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	教材の整備率の向上と教育設備の充実を図る。
------	-----------------------

## 3. 業績指標

指標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	理科教材備品の整備率	%	92.9/100	93.0/100	/100	/100	(R9)
	数学教材備品の整備率	%	80.7/100	80.7/100	/100	/100	(R9)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	2,654	2,264	▲ 390	特定財源	一般財源	1,740	1,454	▲ 286
	事業費	2,116	1,686	▲ 430		国支出金	914	810	▲ 104
	職員人件費	538	578	40		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.10	0.10	0.00	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	理科教育設備整備費等府補助金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	中学校教育設備整備事業	類型	一般型	中事業事業費	1,686千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	理科、数学に関する教育を実施するための設備等を整備し、理科教育の理解を図る。						

### 令和6年度の取組と成果

- 主な取組
- ①直流電源装置を購入(教材費)・・・351千円
  - ②生物顕微鏡を購入(教材費)・・・380千円
  - ③衝突実験器を購入(教材費)・・・178千円



直流電源装置



生物顕微鏡



衝突実験器

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

##### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>各校毎に基準額が定められており、基準額を超えて整備を行うことはできないことから、各校ともに長期的視点に持ち、本当に必要な整備品を吟味していることもあり、前年度の水準の整備に留まったと考えられる。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>各先進国で近年の課題となっている「理科離れ」だが、技術立国である日本でも深刻な課題となっている。児童生徒のうちにいかに理科が素晴らしいか、楽しいかを学ぶことが「理科離れ」解決の重要な基礎となると考えられるので、この基礎を構築するために、この整備事業を促進していく必要がある。</p> <p>「理科離れ」課題解決に向けていかに効果的な備品の整備を行うのか、このことが当該事業の課題と考えられる。</p>	<p>学校と連絡を密に取りあいながら、各校が本当に求める備品の整備を行い、効果的に事業を進めていくべきと考えられる。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	中学校就学援助事業			事業コード	決算書頁	
				10030204	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切にす環境づくり		施策名		
根拠法令等	学校教育法第19条、与謝野町就学援助規則 特別支援学校への就学奨励に関する法律、施行令、規則			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	総合計画に基づく健全で持続可能な行財政運営の推進を図る。
------	------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	就学援助費の支給	回	4/4	4/4	/4	/4	4(R9)
	特別支援教育就学奨励費の支給	回	3/3	3/3	/3	/3	3(R9)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	教育の機会を均等に与えることが目的であるため、成果を数値として表すことが困難である。						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	9,933	11,131	1,198	特定財源	一般財源	9,785	10,934	1,149
	事業費	7,806	8,989	1,183		国支出金	148	197	49
	職員人件費	2,127	2,142	15		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.30	0.30	0.00	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	要保護児童援助費補助金 特別支援教育就学奨励費補助金			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	中学校就学援助事業	類型	義務型	中事業事業費	8,989千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	就学困難と認められる生徒及び障がいのある生徒の保護者に対し、就学に必要な経費を支給する。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①就学援助認定生徒の保護者に就学援助費を支給(年4回)・・・7,762千円						
	②中学校入学予定の児童の保護者に新入学学用品費等を入学前に支給・・・882千円						
	③特別支援学級に在籍する生徒の保護者に特別支援教育就学奨励費を支給(年3回)・・・345千円						
<p>① 就学援助費支給費目・・・学用品費、通学用品費、新入学学用品費等、校外活動費、給食費、PTA会費、クラブ活動費、修学旅行費、卒業アルバム代等 中学校在籍生徒数に対する認定率(年度末)・・・ 22.7%</p> <p>② 就学援助費の支給費目のうち新入学学用品費等の入学前支給件数・・・ 14件</p> <p>③ 特別支援教育就学奨励費支給費目・・・学用品費・通学用品費、新入学学用品費・通学用品費、給食費、校外活動費、修学旅行費 認定人数・・・7人/16人</p>							

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>就学困難と認められる生徒及び障がいのある生徒の保護者に対して、就学に必要な経費を支給(就学奨励費については一部支給)した。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>教育の機会を均等に与えることを目的とした事業であり、今後も継続して実施する必要がある。</p>	<p>就学援助費及び特別支援教育就学奨励費について、一定制度の周知はできているが、家計の急変等家庭状況の変化により援助が必要となる家庭に対しても、様々な広報媒体を活用し、また、学校事務職員とも連携し、事業の周知に努める。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	中学校教育振興事業			事業コード	決算書頁	
				10030205	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 中学校費	目 教育振興費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策1)一人ひとりの学ぶ意欲と確かな学力の育成		施策名		
根拠法令等	与謝野町学校教育関係補助金交付要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	各中学校に必要なとなる教材等を整備するほか、保護者の負担軽減を図る。
------	------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単 位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	学校満足度調査の実施	回	2/2	2/2	/2	/2	2(R9)
	学力検査の実施	回	1/1	1/1	/1	/1	1(R9)
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	各種教材の整備や保護者の負担軽減						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	8,265	10,332	2,067	特定財源	一般財源	8,265	10,332	2,067
	事業費	7,910	9,319	1,409		国支出金	0	0	0
	職員人件費	355	1,013	658		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.05	0.18	0.13	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
					特定財源 の名称				

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	中学校教育振興事業	類型	一般型	中事業事業費	9,319千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	各中学校に必要なとなる教材等を整備するほか、保護者の負担軽減のため各種補助金を交付する。						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①学校満足度調査・学力検査を実施(需用費)・・・753千円 ②各学校の校外活動等に要する費用の一部を支援(補助金)・・・2,260千円 ③和装教室の実施(報償費、役務費)・・・115千円	④タブレットの教材ライセンスを購入(需用費)・・・914千円 ⑤駅伝大会等へのバス借上げ(使用料及び賃借料)・・・1,994千円 ⑥図書・教材の整備(備品購入費)・・・1,034千円
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校満足度調査(480円×全児童対象に年2回)・・・312千円</li> <li>●学力検査(1年生対象:3教科×390円×年1回)・・・117千円</li> <li>●校内学力テスト(3年生対象で5教科:900円×年3回)・・・323千円</li> <li>●和装教室(各中学校2年生を対象に実施:講師謝礼・クリーニング料)・・・115千円</li> <li>●学校教育関係補助金                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・校外活動費補助金・・・120千円</li> <li>・芸術鑑賞費補助金・・・148千円</li> <li>・生徒会活動費補助金・・・400千円</li> <li>・修学旅行補助金・・・347千円</li> <li>・体育大会等選手派遣補助金・・・960千円</li> <li>・修学旅行キャンセル料等補助金・・・47千円</li> <li>・検定料補助金・・・239千円</li> </ul> </li> <li>●バス借上料(駅伝大会・各クラブの大会参加に伴う借上げ)・・・1,994千円</li> <li>●図書の購入 297冊・・・554千円</li> </ul>	

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

##### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		いずれの事業についても、令和5年度と同様に継続した事業実施ができた。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
タブレットの活用が本格化していく中で、アプリ経費の増、また教科書・教材のデジタル化も進んでおり、今後の費用負担が増加しないよう取組む必要がある。	国・府の各種補助金等を活用することで、町財政にも保護者にも負担にならないよう継続して支援の実施を行う。								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	社会教育管理事業			事業コード	決算書頁	
				10050102	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進		施策名		
根拠法令等				関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	社会教育推進のための全般的な支援を図る
------	---------------------

## 3. 業績指標

指 標		単 位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	社会教育指導員配置人数	人	2/2	2/2	/2	/2	2(R9)
			/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	10,090	10,946	856	特定財源	一般財源	10,090	10,946	856
	事業費	5,048	5,857	809		国支出金	0	0	0
	職員人件費	5,042	5,089	47		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.01	0.00	▲ 0.01	地方債	0	0	0	
職員数	会計年度任用職員	1.20	1.20	0.00	その他特定財源	0	0	0	
					特定財源 の名称				

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	社会教育指導員設置事業【会計年度】	類型	一般型	中事業事業費	5,737千円	うち会計年度任用職員報酬等
事業内容	社会教育指導員を雇用することで、社会教育の振興(とりわけ青少年健全育成と文化振興)を図る					
令和6年度の取組と成果						
主な取組	①社会教育推進のための指導助言を得るために指導員を雇用(報酬、職員手当等、共済費)・・・5,737千円					
雇用人数	2人					
勤務形態	週3日勤務					
業務内容	社会教育指導員(1) 青少年健全育成に関する指導助言 障害者教育に関する指導助言 ※人権教育指導員も兼務  社会教育指導員(2) 文化振興に関する指導助言 ※地域学校協働活動コーディネーターも兼務					

中事業②	社会教育総務費一般経費	類型	内部管理型	中事業事業費	120千円	うち会計年度任用職員報酬等	
事業内容	社会教育課の他に分類されない事務を実施することで、本町の社会教育推進の側面支援を行う						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①公用車の燃料費(需用費)・・・102千円 ②研修会参加の高速道路通行料(使賃)・・・1千円						
公用車ガソリン代月別執行額(単位:円)							
月	4	5	6	7	8	9	
金額	5,490	14,992	13,954	16,217	15,777	10,498	
月	10	11	12	1	2	3	合計
金額	14,474	10,136	0	0	0	0	101,538
<p>公用車ガソリン代月別執行状況</p>							

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		左記の具体的説明  学校現場での指導経験の豊富な方を、社会教育指導員として雇用し、青少年健全育成、障害者教育及び文化振興についての指導助言を行っていただくことで、本町の青少年健全育成及び文化振興に寄与している。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
社会教育指導員として指導、助言をいただくにあたり、学校教育現場での経験が大きいと思われることから、退職された教諭が適任と思われるが、後任の確保が困難になってきている。	組織体制及び職務内容の検討が必要								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	社会教育推進事業			事業コード	決算書頁
				10050103	担当課 社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	作成責任者	課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進	施策名		
根拠法令等	社会教育法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、与謝野町社会教育関係補助金交付要綱			関連計画等	

## 2. 事業の目的

事業目的	各種生涯学習活動の推進を図る
------	----------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	生涯学習講座受講者数	人	661/800	739/800	/800	/800	800(R9)
	俳句大会事前投句者数	人	816/1,500	814/1,500	/1,500	/1,500	1,500(R9)
成果指標 実績/目標	各種生涯学習活動の実施回数	回	136/140	156/140	/150	/160	160(R9)
	各種生涯学習活動への参加者数	人	6312/15,000	6892/15,000	/18,000	/18,000	18,000(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				R5年度	R6年度	比較	財源内訳		
総事業費	総事業費	12,634	12,205	▲ 429	特定財源	一般財源	12,244	11,807	▲ 437
	事業費	7,306	5,912	▲ 1,394		国支出金	315	311	▲ 4
	職員人件費	5,328	6,293	965		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.73	0.82	0.09	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.40	0.20	▲ 0.20	その他特定財源	75	87	12	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。						特定財源 の名称		(国)地方創生推進交付金(デジタル田園都市国家構想交付金)(R5、R6)、(そ)社会教育事業参加者負担金(R5、R6)	

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	社会教育委員設置事業	類型	一般型	中事業事業費	180千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	社会教育委員を設置し、社会教育施策に係る意見を収集する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①社会教育委員会の開催(報酬)・・・114千円 ②近畿地区社会教育研究大会(京都大会)資料代(需用費)・・・2千円 ③京都府・丹後社会教育委員連絡協議会負担金の支出・・・64千円						
社会教育委員会議の開催 3回 内容:社会教育施設、高校魅力化推進事業に対する意見交換 近畿地区社会教育研究大会(京都大会)へ2名の委員が役員として参加							
中事業②	成人式開催事業	類型	一般型	中事業事業費	555千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	本町出身で20歳となる方を対象とし、人生の節目を迎えることを祝う式典を開催する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①式典記念品を購入(報償費)・・・352千円 ②参加者記念写真撮影印刷業務を委託(委託料)・・・145千円 ③対象者案内返信用ハガキを購入(役務費)・・・16千円						
令和5年度	対象者	209人	出席者	157人	出席率	75.1%	
令和6年度	対象者	293人	出席者	181人	出席率	61.8%	

中事業③	生涯学習支援事業	類型	一般型	中事業事業費	3,497千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	各地域公民館の講座や各種事業を通じた生涯学習の機会を提供するほか、関係団体に対し支援を行う						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①生涯学習講座・高齢者教室・ミュージックフェスタ・音楽会等の開催(報償費・委託料)・・・754千円 ②リベラルアーツ講座の開催(委託料)・・・623千円 青年学級事業の実施(委託料)・・・59千円 ③町婦人会の活動支援(補助金)・・・660千円 町文化協会等の活動支援(補助金・負担金)・・・1,268千円						
生涯学習講座等	開催数等	80回	参加人数等	3,170人			
リベラルアーツ講座	開催数等	3回	参加人数等	50人			
青年学級事業	開催数等	2回	参加人数等	25人			
団体活動の支援	補助金交付団体	2団体	文化協会・婦人会				
中事業④	青少年育成事業	類型	一般型	中事業事業費	1,228千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	青少年健全育成団体等に対し補助金を交付し、活動を支援する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①与謝野町青少年育成会の運営に対する費用を支援(補助金)・・・1,220千円 ②与謝野町連合PTAに係る費用を支援(補助金)・・・8千円						
育成会親子ふれあい事業	参加人数等	116人	※スポーツフェスタと共催				
育成会子ども発表会	参加人数等	126人					
中事業⑤	俳句文化振興事業	類型	一般型	中事業事業費	452千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	地域の特色である俳句を活かし、小中高生俳句教室や蕪村顕彰全国俳句大会を開催する						
令和5年度の取組と成果							
主な取組	①町内小中高生を対象とした俳句教室を開催(報償費)・・・99千円 ②与謝野町俳句大会実行委員会の活動に要する費用を支援(補助金)・・・344千円 ③俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会の活動に要する費用を負担(負担金)・・・10千円						
町内小中高生俳句教室	総授業数	65時間	延受講児童生徒数	1,310人			
蕪村顕彰全国俳句大会	投句者総数	814人	当日来場	130人			
令和のBuson俳句大会	町内児童生徒参加	1,083人					

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明	
大きく向上した。	以下のとおり事業の統廃合、事業の充実を図った <事業の統廃合> ①イングリッシュキャンプ 加悦谷学舎の小高英語交流として実施 ②青少年育成会親子事業 スポーツフェスタとの共催 <事業の充実(俳句大会)> ①大会前日に蕪村研究者を囲む茶話会を実施 ②当日座談会に絵本の紹介やクイズなどを取り入れ、 親しみやすく、交流が深まる内容で実施	
向上した。		○
前年度の水準に留まった。		
前年度の水準を下回った。		
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性	
社会教育が生涯学習をはじめ様々な分野・年代を対象として展開する教育活動であり、地域社会の発展や社会参加を促進する狙いもある中、効果的な取組、求められている取組の把握が常に課題である。	講座参加者、社会教育団体との対話を通じて、社会の動き、社会的ニーズを捉えた事業を実施するとともに、事業の効率化と充実の両立を図る	



中事業②	地区公民館活動推進事業	類型	一般型	中事業事業費	10,135千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円																																																																																								
事業内容	地区公民館(20館)に委託し、地区住民向けの各種講座を実施する。																																																																																														
令和6年度の取組と成果																																																																																															
主な取組	①地区公民館長・主事の委嘱(報償費)・・・4,600千円 ②地区公民館活動の委託(委託料)・・・5,535千円																																																																																														
・謝金 公民館長 60千円/年、公民館主事170千円/年 地区公民館活動実施状況																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>館長</th> <th>主事</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>算所地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>加悦奥地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>加悦地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>14</td></tr> <tr><td>後野地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>与謝地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>10</td></tr> <tr><td>滝地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>14</td></tr> <tr><td>金屋地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>温江地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>16</td></tr> <tr><td>明石地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>12</td></tr> <tr><td>香河地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>				公民館名	館長	主事	実施回数	算所地区公民館	1	1	11	加悦奥地区公民館	1	1	11	加悦地区公民館	1	1	14	後野地区公民館	1	1	11	与謝地区公民館	1	1	10	滝地区公民館	1	1	14	金屋地区公民館	1	1	11	温江地区公民館	1	1	16	明石地区公民館	1	1	12	香河地区公民館	1	1	10	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公民館名</th> <th>館長</th> <th>主事</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>石田地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>10</td></tr> <tr><td>弓木地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>12</td></tr> <tr><td>男山地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>12</td></tr> <tr><td>三河内地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>14</td></tr> <tr><td>岩屋地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>13</td></tr> <tr><td>幾地地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>15</td></tr> <tr><td>四辻地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>10</td></tr> <tr><td>上山田地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>9</td></tr> <tr><td>下山田地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>石川地区公民館</td><td>1</td><td>1</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>				公民館名	館長	主事	実施回数	石田地区公民館	1	1	10	弓木地区公民館	1	1	12	男山地区公民館	1	1	12	三河内地区公民館	1	1	14	岩屋地区公民館	1	1	13	幾地地区公民館	1	1	15	四辻地区公民館	1	1	10	上山田地区公民館	1	1	9	下山田地区公民館	1	1	11	石川地区公民館	1	1	8
公民館名	館長	主事	実施回数																																																																																												
算所地区公民館	1	1	11																																																																																												
加悦奥地区公民館	1	1	11																																																																																												
加悦地区公民館	1	1	14																																																																																												
後野地区公民館	1	1	11																																																																																												
与謝地区公民館	1	1	10																																																																																												
滝地区公民館	1	1	14																																																																																												
金屋地区公民館	1	1	11																																																																																												
温江地区公民館	1	1	16																																																																																												
明石地区公民館	1	1	12																																																																																												
香河地区公民館	1	1	10																																																																																												
公民館名	館長	主事	実施回数																																																																																												
石田地区公民館	1	1	10																																																																																												
弓木地区公民館	1	1	12																																																																																												
男山地区公民館	1	1	12																																																																																												
三河内地区公民館	1	1	14																																																																																												
岩屋地区公民館	1	1	13																																																																																												
幾地地区公民館	1	1	15																																																																																												
四辻地区公民館	1	1	10																																																																																												
上山田地区公民館	1	1	9																																																																																												
下山田地区公民館	1	1	11																																																																																												
石川地区公民館	1	1	8																																																																																												
				20    20    234																																																																																											
・地区公民館における主な取組 ・10講座を目安に講座を実施 ・青少年育成講座、人権講座の2科目は必修																																																																																															

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		公民館講座については、全20館において10講座を目安に安定して実施された。 また、与謝野町公民館連絡協議会では、地区公民館の実践発表により、活動の参考としていただいた(好評であり、継続して実施予定)
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
それぞれの地区・地域公民館で創意工夫のうえ、精力的に講座を実施されているものの、地区の人口減少・高齢化・人手不足など現在の社会の動向に応じた講座の実施が求められている。 そのような講座等の企画・立案のために、公民館長・主事的能力向上を図ることが課題となっている。	公民館の館長・主事の皆様と先進事例に学ぶ意見交流を行い、公民館講座の質の向上を図る。 また、町公民館連絡協議会の研修を通じて学びを深めるとともに、令和5年度に策定された協働のまちづくり指針を踏まえた活動を促進していく。								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	高校魅力化推進事業			事業コード	決算書頁	
				10050107	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名		
	施策名	(施策1)多様な主体による協働のまちづくりの推進		施策名		
根拠法令等				関連計画等	与謝野町高校魅力化ビジョン	

## 2. 事業の目的

事業目的	宮津天橋高校加悦谷学舎生の人財の循環・還流体制の構築を図る
------	-------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	地域探究・キャリア教育フィールドワーク	回	4/4	11/7	/7	/7	7(R9)
成果指標 実績/目標	地域愛着度	%	76/80	82/80	/85	/85	90(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	8,455	6,165	▲ 2,290	特定財源	一般財源	8,455	2,031	▲ 6,424
	事業費	4,376	4,551	175		国支出金	0	0	0
	職員人件費	4,079	1,614	▲ 2,465		府支出金	0	2,270	2,270
(参考)	職員数	0.50	0.20	▲ 0.30	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	1,864	1,864	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	(府)きょうと地域連携交付金(R6)、(そ)ひと・しごと・まち創生基金(R6)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	高校魅力化推進事業	類型	一般型	中事業事業費	4,551千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	社会に最も近い存在である高校生に町の魅力や課題を伝え、将来の地方創生人財、地域活性化人財を育成する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①地域に根差した探究学習等を実施するため高校魅力化コーディネーターを配置(委託料)・・・4,396千円 ②マイクロバスによる移動支援(使用料)・・・146千円						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域探究学習の推進 地域講師の選定調整・フィールドワーク・地域実践に向けた支援 主な実践:子ども向けイベントの開催・町内事業所とのコラボによる商品開発・地元の特産品をまとめた冊子「野菜図鑑」の制作</li> <li>キャリア教育の推進 1年生全生徒対象進路講話会 地域講師 3事業所 職種希望制進路講話会(通称:Kayadani仕事図鑑) 地域講師 8事業所 地元企業インターン事業(通称:Kayadani仕事体験) 13事業所 地元(丹後・中丹地区)就職率50%を堅持</li> <li>その他の活動 小高スポーツ交流事業(町内全小学校との交流が実現) 加悦小学校5年生との英語交流事業の開催(イングリッシュキャンプの継承) 加悦中学校1年生との探究交流事業の開催</li> <li>第2期高校魅力化ビジョンの策定 各種団体との意見交換会 4回 パブリックコメントの募集 2人 ビジョン検討委員会 2回</li> </ul>						



## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		
大きく向上した。		<p>地域探究では多くのゼロからイチを生みだす実践が生まれたことに加え、加悦中学校との探究交流が実現した。また、スポーツ交流では同一年度で初めて町内全小学校との交流が実現し、町のイングリッシュキャンプの後継として小高英語交流が開催され、双方ともに満足度の高い事業になった。</p> <p>第2期ビジョンにおいては、当初の方向性どおり、幅広い層から意見をもらう中で策定をすることができた。</p> <p>なお、委託していたコーディネート業務は学びの場だけでなく、ビジョン策定の補助も担い、魅力化全般に渡って町と高校をサポートするなど、期待値を超える能力を示してくれた。</p>
向上した。	○	
前年度の水準に留まった。		
前年度の水準を下回った。		
事業の課題		令和7年度以降における課題解決に向けた方向性
<p>高校魅力化推進事業を立ち上げて以降、学校としては、相当な労力をかけて多種多様な事業を実施し、現在のレベルまで押し上げてもらったところがある。</p> <p>今後は生徒数の減少に伴い教員の減少も予想され、事業の持続可能性を考えると、個々の事業の質的向上と効率化が課題である。</p>		<p>第2期ビジョン(R7-R9)に基づき、協働の学びの質と効率性の向上を目指す。</p> <p>これまでのつながりをベースとした新たなつながりづくりに努める。</p>

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	地域学校連携事業			事業コード	決算書頁	
				10050108	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育総務費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進		施策名		
根拠法令等	与謝野町学校運営協議会規則 与謝野町地域学校協働活動推進員設置要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	地域の活力を活用し子ども達の成長を支援するとともに教育環境の充実を図る
------	-------------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	支援を実施する学校数	校	8/8	8/8	/8	/8	9(R9)
成果指標 実績/目標	講座等への参加人数	人	2,757/2,800	2,757/2,800	/2,800	/2,800	2,800(R9)
	学校運営協議会開催回数	回	3/3	21/21	/21	/24	24(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	6,155	4,768	▲ 1,387	特定財源	一般財源	4,785	3,498	▲ 1,287
	事業費	3,023	3,414	391		国支出金	0	0	0
	職員人件費	3,132	1,354	▲ 1,778		府支出金	1,370	1,270	▲ 100
(参考)	正職員	0.42	0.17	▲ 0.25	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	(府)子どものための地域連携事業補助金(R5、R6)、 (府)地域で支える家庭教育支援事業補助金(R6)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	土曜日の教育支援体制構築事業	類型	一般型	中事業事業費	765千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円					
事業内容	各地域公民館において、児童生徒の居場所づくりや様々な体験活動を実施する											
令和6年度の取組と成果												
主な取組	①加悦地域における講座の実施(報償費・需用費等)・・・110千円											
	②野田川地域における講座の実施(報償費・需用費等)・・・359千円											
	③岩滝地域における講座の実施(報償費・需用費等)・・・296千円											
	土曜講座	実施回数	60回	延参加人数	904人	※合唱・環境学習・ばすてる画・茶道・書初めなど						
	夏休み等講座	実施回数	34回	延参加人数	660人	※宿題教室・将棋・工作など						
	合計		94回		1,564人							
中事業②	放課後学習支援事業	類型	一般型	中事業事業費	286千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円					
事業内容	地域人材を活用し、学習支援が必要な児童に適切な支援を実施する											
令和6年度の取組と成果												
主な取組	①放課後学習支援事業の実施(報償費)・・・286千円											
	学校名	回数	延人数	学校名	回数	延人数	学校名	回数	延人数	回数	延人数	
	加悦	28	120	石川	0	0	市場	29	145	合計	154	649
	岩滝	40	200	三河内	25	120	山田	32	64			

中事業③	地域学校協働活動推進事業	類型	一般型	中事業事業費	1,327千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	町内の全ての学区に学校運営協議会を設置し、学校の目標やビジョンを保護者や地域住民と共有する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①学校運営協議会開催(報酬)・・・348千円 ②地域学校協働活動の推進(報償費)・・・979千円						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会 各協議会において年間3回の実施 ※橋立中学校運営協議会設置に向けた準備の実施</li> <li>・地域学校協働活動 地域協力を得て実施地域をテーマとした授業・校地清掃・マラソン大会走路整備・マラソン大会走路員・防災学習等</li> <li>・広報周知 広報よさの12月号に取り組み内容を掲載</li> </ul>							
中事業④	地域で支える家庭教育支援事業	類型	一般型	中事業事業費	1,036千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	児童・保護者等に対し、地域人材を活用し、こども園、小学校、中学校を通じた支援を実施する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①アドバイザーによる児童・保護者への支援(報償費)・・・1,036千円						
<p>加悦小学校に家庭教育アドバイザー1名を配置し、児童・保護者に支援を行なった。</p> <p>【支援内容】 学校での児童支援・毎週末つばきこども園での通園指導・たよりの発行10回・家庭訪問支援等66回 こども園・小学校・中学校・教育支援センター等との連携</p>							

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明								
<table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。	○	前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>土曜・夏休み講座は予定どおり実施できた。</p> <p>学校運営協議会は令和6年度で町内全域に設置され、地域学校協働活動につながる協議ができた。また、橋立中学校の令和7年度の設置に向けた調整・準備も順調に進めることができた。</p> <p>なお、家庭教育支援アドバイザーの配置は3年目となり、安定した支援活動を実施することができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。	○								
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
今後の持続可能な事業継続を考えると、各種講座の講師など、担い手不足への対応が課題である。	担い手不足を解消するため、たとえば学校運営協議会であれば、委員全員がコーディネーターの役割を担うなど、組織としてカバーできる体制づくりに努める。								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	公民館管理運営事業			事業コード	決算書頁
				10050201	担当課 社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育施設管理費	作成責任者	課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進	施策名		
根拠法令等	社会教育法、与謝野町公民館条例		関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	生涯学習活動の推進を図る。
------	---------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	適正管理館数	館 2/2	2/2	/2	/2	2(R8)
		/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標	中央公民館利用者数	人 2,686/4,000	3,604/4,000	**/4,000	**/4,000	4,000(R8)
	加悦地域公民館利用者数	人 5,138/9,000	4,926/9,000	**/9,000	**/9,000	9,000(R8)
指標で表せない 成果・効果						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	28,173	32,866	4,693	一般財源	27,902	32,517	4,615
事業費	27,542	32,009	4,467	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	631	857	226		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.11	0.12	0.01		地方債	0	0
職員数	5.43	5.43	0.00		その他特定財源	271	349
				特定財源 の名称			

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	公民館維持管理事業	類型	施設管理型	中事業事業費	32,009千円	うち会計年度任用職員報酬等	22,300千円
事業内容	中央・加悦地域公民館の維持管理を行う。						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①中央公民館の維持管理	・屋上防水シート修繕(需用費)…87千円
	②加悦地域公民館の維持管理	・排煙窓修繕工事(大ホール排煙窓、2階ドア)(需用費)…65千円 ・消防設備修繕(誘導灯及び誘導標識)…64千円

### 施設概要

#### 中央公民館

構造	鉄筋コンクリート造、2階建て
敷地面積	1,468.00㎡
延べ床面積	963.95㎡
休館日	火曜日、年末年始
利用時間	9:00~22:00

#### 中央公民館外観

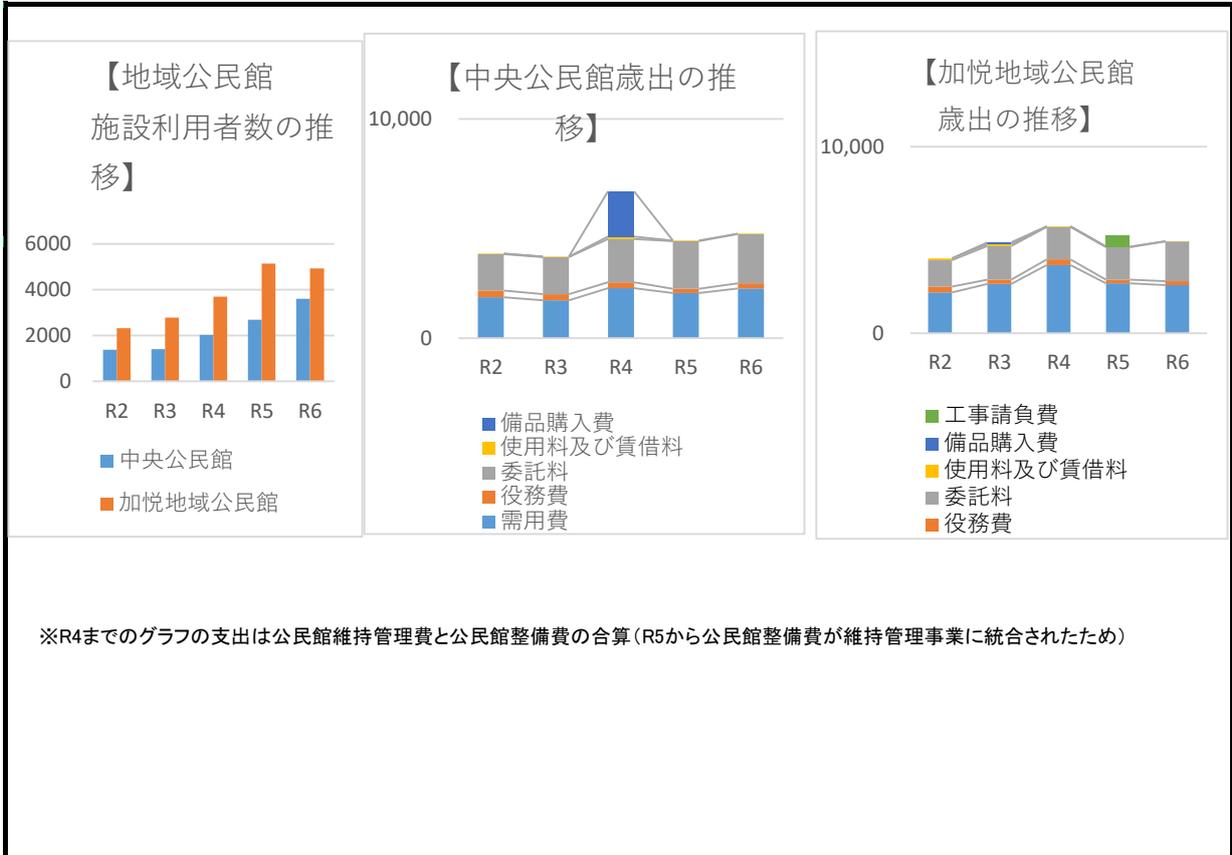


#### 加悦地域公民館

構造	鉄筋コンクリート造、2階建て
敷地面積	1,877.44㎡
延べ床面積	1,349.82㎡
休館日	月曜日、年末年始
利用時間	9:00~22:00

#### 加悦地域公民館外観





### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明	
大きく向上した。	中央公民館・加悦地域公民館ともに、老朽化が進んでいるが、地域の大規模集会施設としての需要は高く、適宜修繕を行いながら、施設を維持できている。	
向上した。		
前年度の水準に留まった。		○
前年度の水準を下回った。		
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性	
町全体の公共施設のあり方を検討する中で、老朽化が進む施設を今後維持していくのかどうかの判断が求められており、適正化についての議論が求められている。	今後の施設のあり方等について、町全体の施設を含めて引き続き検討を続けるが、検討及び実現にしばらく時間を要するため、その間の施設の維持管理については、修繕等最低限の機能を維持していく。	

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	地区公民館管理運営事業			事業コード	決算書頁	
				10050202	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育施設管理費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進		施策名		
根拠法令等	社会教育法、与謝野町公民館条例			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	各地区公民館の維持管理を行う。
------	-----------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	適正管理館数	館	20/20	20/20	/20	/20	20(R8)
			/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果		・安心安全に利用できる環境の維持 ・地区公民館利用者数(把握はしているが、地区の活動拠点として利用されており、成果にはそぐわない。)					

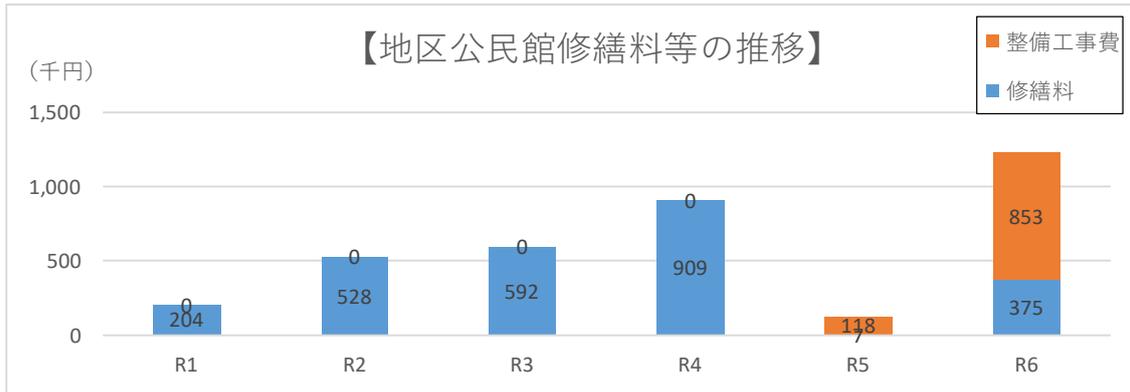
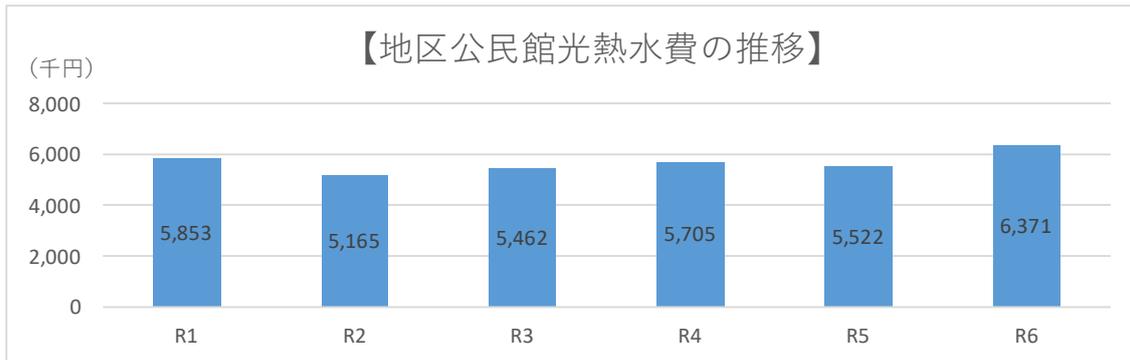
## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	7,365	9,990	2,625	特定財源	一般財源	6,995	9,589	2,594
	事業費	6,734	9,133	2,399		国支出金	0	0	0
	職員人件費	631	857	226		府支出金	0	0	0
職員数	正職員	0.11	0.12	0.01	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	370	401	31	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	公民館使用料(R5) 公共施設冷暖房等使用料(R5・R6)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	地区公民館維持管理事業	類型	施設管理型	中事業事業費	9,133千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	各地区公民館の維持管理を行う。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①地区公民館(20館)の維持管理を実施(需用費・役務費・委託料等)・・・8,280千円						
	②男山地区公民館の和室エアコンを更新(工事請負費)・・・853千円						
【主な修繕等】 ・石川地区公民館 コインタイマー取替修繕・・・91千円 ・後野地区公民館 大会議室、調理室エアコン修繕・・・284千円 ・男山地区公民館 和室エアコン更新工事・・・853千円							



## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、

大きく向上した。	
向上した。	
前年度の水準に留まった。	○
前年度の水準を下回った。	

左記の具体的説明

地区における生涯学習や地域づくり活動の拠点として適切な管理を行うことができた。

### 事業の課題

所有者の違いによる不公平の是正、また20館中9館が新耐震基準適用(昭和56年6月1日)前に建築した建物であり耐震も課題である。

また、時代の変化や地区の実情に合った活動拠点がどうあるべきかを地区公民館館長・主事や自治区とともに考える時期に来ている。

### 令和7年度以降における課題解決に向けた方向性

地区における生涯学習・地域づくり活動の拠点として引き続き維持管理を行うとともに、課題解決に向けて進むべき方向を地区公民館館長・主事や自治区とともに考える時期に来ている。

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	知遊館管理運営事業			事業コード	決算書頁	
				10050203	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 社会教育施設管理費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名			
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進	施策名			
根拠法令等	与謝野町生涯学習センター知遊館条例		関連計画等			

## 2. 事業の目的

事業目的	生涯学習活動の推進を図る。
------	---------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	適正管理館数	館	1/1	1/1	/1	/1	1(R8)
			/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標	利用者数	人	15,226/20,000	14,996/20,000	/20,000	/20,000	20,000(R8)
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	31,703	40,392	8,689	特定財源	一般財源	30,408	39,410	9,002
	事業費	30,257	37,618	7,361		国支出金	0	0	0
	職員人件費	1,446	2,774	1,328		府支出金	0	0	0
(参考) 職員数	正職員	0.21	0.35	0.14	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	4.60	4.60	0.00	その他特定財源	1,295	982	▲ 313	
					特定財源 の名称				

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	知遊館維持管理事業	類型	施設管理型	中事業事業費	18,650千円	うち会計年度任用職員報酬等
事業内容	知遊館の維持管理を行う。					

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①知遊館の維持管理					
	知遊館消火補給水槽配管修理作業(需用費)…297千円					
	知遊館空調設備更新工事(工事請負費)…4,205千円					

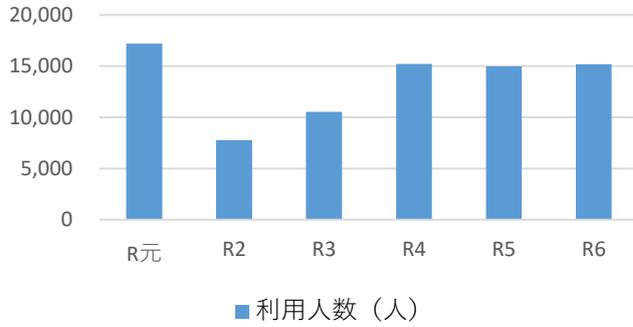
### 施設概要

構造	鉄筋コンクリート造、3階建て
敷地面積	5,491.45㎡
延べ床面積	2,999.33㎡
休館日	月曜日、年末年始
利用時間	9:00~22:00
構成諸室	1階…展示室、(図書館) 2階…ホール、控室(2)、研修室(4) 視聴覚室、子育てふれあい室、栄養指導室 和室、団体事務室、 3階…工房
建築年月日	2001年3月21日

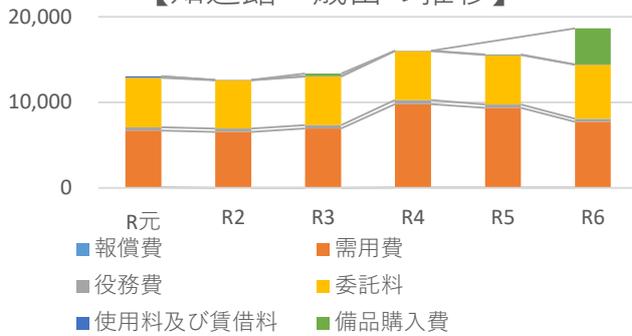


知遊館外観

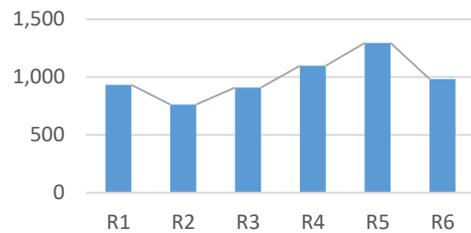
【知遊館 施設利用者の推移】



【知遊館 歳出の推移】



【知遊館 歳入の推移】



6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		左記の具体的説明
大きく向上した。		<p>老朽化が進んでいるが、地域の大規模集会施設としての需要は高く、適宜修繕を行いながら維持できている。</p> <p>地域の生涯学習拠点としてだけでなく、丹後地方の中心的位置にあり広域での利用施設である。</p>
向上した。		
前年度の水準に留まった。	○	
前年度の水準を下回った。		
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性	
<p>施設・設備の計画的な修繕を実施する必要がある。</p> <p>使用料の適正化についての議論が求められている。</p>	<p>令和6年度以降には今後の施設のあり方等について、町全体の施設を含めて検討をする必要がある。</p> <p>計画的に修繕を行うことで、単年度での大規模修繕を抑制し、今後も、見込める修繕については計画的に修繕を実施していきたい。</p>	

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	文化財保護事業			事業コード	決算書頁
				10050301	担当課 社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 文化財保護費	作成責任者	課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策5)文化財の継承と活用	施策名		
根拠法令等	与謝野町文化財保護条例		関連計画等	与謝野町文化財保存活用地域計画	

## 2. 事業の目的

事業目的	文化財を保存・活用し、文化財の保護意識の向上を図る
------	---------------------------

## 3. 業績指標

指標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	文化財の調査・研究の推進	件	2/2	2/2	/2	/2	2(R9)
	文化財保存・活用の推進	件	3/3	3/3	/3	/3	2(R9)
成果指標 実績/目標	出前講座・原稿執筆等の件数	回	20/2	10/10	/10	/10	10(R9)
	伝建地区建造物の保存継承の件数	棟	3/3	3/3	/3	/3	3(R9)
指標で表せない 成果・効果							

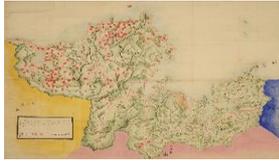
## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	24,862	29,781	4,919	特定財源	一般財源	18,172	25,027	6,855
	事業費	14,462	13,789	▲ 673		国支出金	5,089	3,488	▲ 1,601
	職員人件費	10,400	15,992	5,592		府支出金	1,601	1,170	▲ 431
(参考)	正職員	1.69	1.79	0.10	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	1.14	1.00	▲ 0.14	その他特定財源	0	96	96	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	(国)国宝重要文化財等保存整備費補助金(R5,R6)、(府)重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金(R5,R6)、(府)文化財緊急保存費補助金(R5,R6)、(そ)文化財売上等(R6)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	文化財保存・活用事業	類型	一般型	中事業事業費	6,718千円	うち会計年度任用職員報酬等	4,915千円
事業内容	文化財の調査・保存・修理・情報発信を行う						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①滝のツバキの樹勢回復事業(委託料)…520千円						
	②文化財説明板の製作設置3ヶ所(委託料)…44千円						
	③資料調査・与謝野町指定文化財の新規指定3件(報償・旅費)…84千円						
④旧尾藤家住宅の国重要文化財指定記念事業(委託料他)…375千円							
中事業②	伝統的建造物群保存対策事業	類型	一般型	中事業事業費	4,557千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	加悦伝統的建造物群保存地区における修理・修景事業に対し補助金を交付する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①伝建建造物の修理等事業(3件)への補助金交付(補助金)…3,748千円						
	②伝建地区の修理等を伝統的建造物群保存地区保存審議で審議(報償費・旅費)…101千円						
	③ちりめん街道を守り育てる会の活動支援への補助金を交付(補助金)…300千円						
中事業③	遺跡調査事業	類型	一般型	中事業事業費	2,514千円	うち会計年度任用職員報酬等	1,873千円
事業内容	埋蔵文化財の発掘調査や調査報告書を作成する						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①開発事業に対応するための発掘調査の実施(報酬等)…2,514千円						



■与謝野町文化財の新規指定(丹後国絵図、加悦町地図)



■滝のツバキ樹勢回復事業

■文化財説明板製作設置事業



■旧尾藤家国指定記念事業

■防火マニュアル作成事業



■伝建修理事業

修理前

修理後



■遺跡調査(弓木北城跡)

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、		左記の具体的説明
大きく向上した。		<p>旧尾藤住宅家が国重要文化財に指定されたことを記念した事業を実施し、多くの方に知っていただくことができた。また、広報よさでの文化財紹介記事の連載や、丹後国一里三寸見積絵図等新たに3件の町文化財に指定する等、多くの方に周知することができた。</p> <p>伝建保存地区関連については、建築物の修理等事業への支援を行うとともに、ちりめん街道を守り育てる会との協働により、防災意識の向上等を図ることができた。</p>
向上した。	○	
前年度の水準に留まった。		
前年度の水準を下回った。		
事業の課題		令和7年度以降における課題解決に向けた方向性
<p>文化財の保護への理解を促すための各種文化財の基礎情報の広範な発信・周知が不足している。</p> <p>伝建保存地区については、空家や後継者問題等、特定物件をはじめ伝建地区の継承が引き続きの課題である。</p>		<p>文化財情報の発信強化・充実を図るとともに、貴重な歴史文化資料等の文化財指定に努める。</p> <p>伝建保存地区については、引き続きりめん街道を守り育てる会と協働し防災意識の向上に努め、加えて空家や後継者問題についても検討を進める。</p>

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	図書館管理運営事業			事業コード	10050401	決算書頁	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 図書館費	作成責任者	課長 小谷貴儀			
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名				
	施策名	(施策3)生涯学習社会の実現と人権教育の推進		施策名				
根拠法令等	図書館法、与謝野町立図書館条例			関連計画等				

## 2. 事業の目的

事業目的	図書、記録、資料等を一般公衆の利用に供し、教養・娯楽・地域文化を育む生涯学習の場を提供する
------	---

## 3. 業績指標

指標	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)	イベント開催回数(お話し会、講習会など)	回	35/36	31/36	/36	/36	36(R9)
成果指標 実績/目標	町民人口に対する図書総貸出冊数の割合	冊	6.2/6	5.9/6	/6	/6	6(R9)
	読書活動への参加率(参加者のべ人数/人口)	%	1.6/1	1.8/1	/1	/1	1(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	31,290	39,373	8,083	一般財源	31,290	39,373	8,083
事業費	23,936	33,400	9,464	特定財源			
職員人件費	7,354	5,973	▲ 1,381	国支出金	0	0	0
(参考) 正職員	0.90	0.74	▲ 0.16	府支出金	0	0	0
職員数	6.38	6.38	0.00	地方債	0	0	0
				その他特定財源	0	0	0
				特定財源 の名称			

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	図書館運営事業	類型	一般型	中事業事業費	33,214千円	うち会計年度任用職員報酬等	19,336千円
事業内容	生涯学習の場としての図書館の環境整備を行うほか、利用者の要望に応じた資料の収集・保存・提供を行う。						

### 令和6年度の取組と成果

①図書館システムバージョンアップ更新(委託料)…5,060千円  
②図書館システム端末更新リース料(使用料・賃貸借料)…108千円  
※契約総額6,468,000円(R7.3.1~R12.2.28 60回)  
③蔵書購入費(備品購入費)…2,999千円

令和2年度はコロナ対策費による増額あり →

貸出冊数の推移

年度	本館	加悦分室	野田川分室	合計
R1	57,659	31,508	40,920	129,087
R2	41,434	23,865	37,205	102,504
R3	46,481	26,705	32,563	105,749
R4	50,433	26,944	44,991	122,368
R5	49,834	26,369	44,672	120,875
R6	44,238	25,239	43,933	113,410

購入図書数の推移

年度	本館	加悦分室	野田川分室	合計
R1	1,030	665	641	2,336
R2	1,320	1,227	1,022	3,569
R3	870	580	588	2,038
R4	1,059	508	527	2,114
R5	966	567	522	2,055
R6	918	618	544	2,080

貸出人数の推移

年度	本館	加悦分室	野田川分室	合計
R1	13,007	8,005	9,015	30,027
R2	7,827	5,532	6,459	19,818
R3	9,555	6,813	8,198	24,566
R4	11,516	6,945	9,315	27,776
R5	11,692	6,895	9,057	27,644
R6	11,063	6,731	8,919	26,713

中事業②	読書活動推進計画	類型	一般型	中事業事業費	187千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円																																
事業内容	読書への興味・関心を喚起させるようなイベントや取り組みを実施する																																						
令和6年度の取組と成果																																							
主な取組	①おはなし会の実施(講師等謝礼・消耗品)・・・24千円 ②夏休み期間における読書促進の取組である読書マラソンを実施(消耗品:台紙・シール購入)・・・13千円 ③ 与謝野町読み語り推進活動実行委員会補助金・・・150千円																																						
① おはなし会	<table border="0"> <tr> <td>本館</td> <td>通常 9回 参加者77人</td> <td>野田川分室</td> <td>通常 4回 参加者20人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>七夕おはなし会 7/6 参加者24人</td> <td></td> <td>夏のおはなし会 7/7 参加者23人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>クリスマス12/7 参加者33人</td> <td></td> <td>クリスマス12/15 参加者40人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 11回 参加者134人</td> <td></td> <td>音読の会 9/21、11/23 参加者のべ10人</td> </tr> <tr> <td>加悦分室</td> <td>通常 10回 参加者42人</td> <td></td> <td>計 8回 参加者93人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>夏のおはなし会 7/13 参加者31人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>クリスマス12/14 参加者38人</td> <td>合計</td> <td>31回 338人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 12回 参加者111人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							本館	通常 9回 参加者77人	野田川分室	通常 4回 参加者20人		七夕おはなし会 7/6 参加者24人		夏のおはなし会 7/7 参加者23人		クリスマス12/7 参加者33人		クリスマス12/15 参加者40人		計 11回 参加者134人		音読の会 9/21、11/23 参加者のべ10人	加悦分室	通常 10回 参加者42人		計 8回 参加者93人		夏のおはなし会 7/13 参加者31人				クリスマス12/14 参加者38人	合計	31回 338人		計 12回 参加者111人		
本館	通常 9回 参加者77人	野田川分室	通常 4回 参加者20人																																				
	七夕おはなし会 7/6 参加者24人		夏のおはなし会 7/7 参加者23人																																				
	クリスマス12/7 参加者33人		クリスマス12/15 参加者40人																																				
	計 11回 参加者134人		音読の会 9/21、11/23 参加者のべ10人																																				
加悦分室	通常 10回 参加者42人		計 8回 参加者93人																																				
	夏のおはなし会 7/13 参加者31人																																						
	クリスマス12/14 参加者38人	合計	31回 338人																																				
	計 12回 参加者111人																																						
② 夏休み読書マラソン	期間 7月19日～8月28日 内容 小学生以下の子どもを対象に、期間中に図書館での貸出冊数分のシールを配布 シール配布枚数:9,419枚 50冊達成者:61人(本館18 加悦26 野田川17)																																						
③ 与謝野町読み語り推進活動実行委員会による読書支援	R7.3.16絵本作家講演会 講師:さいとうしのぶ氏 参加者58人 子どもゆめ基金内定額164,000円																																						



## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td>○</td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。	○	左記の具体的説明  通常おはなし会に参加がなく開催できない時があったためイベント実施回数は減少したが、季節のおはなし会では参加者数が増えていることから、「読み聞かせ」だけより特別感のある催しが望まれている。また貸出数は、本館で貸出冊数が約1割減(主な要因として小学生以下の子どもと40代における冊数がR5と比較し約3,700冊減)となったことが昨年度減になった。図書館システムを最新セキュリティに対応した最新バージョンに更新した結果、ホームページの利便性向上やスマートフォンでの貸出、メールで返却日や新着本のお知らせも出来るようになった。
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。	○								
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
今後の運営において、蔵書収集やイベント開催に関して同じものを行うだけではなく、3館での役割分担も必要と考えるが、各地域ごとにある施設への期待もあり、どうバランスを取っていくのが課題である。人口減のなかでの図書館のあり方、社会のデジタル化への対応を検討していく必要がある。	図書館で本を借りる以外にも、思い思いに時間を過ごしたり、行事に参加することを希望する町民に対し、安心して利用しやすい環境を整える。  また、図書館新システムによるメールサービス等の利便性の高いサービスを利用者に活用してもらうためのさらなる周知を行う。								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	三河内郷土資料室管理運営事業			事業コード	決算書頁
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	10050501	担当課 社会教育課 作成責任者 課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策5)文化財の継承と活用	施策名		
根拠法令等	与謝野町立三河内郷土資料室条例		関連計画等	与謝野町文化財保存活用地域計画	

## 2. 事業の目的

事業目的	郷土の歴史や文化を後世に伝える
------	-----------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	開室日数	日	106/106	104/104	/106	/106	106(R8)
			/	/	/	/	
成果指標 実績/目標	入室者数	人	127/360	157/360	/360	/360	360(R8)
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	1,754	1,672	▲ 82	特定財源	一般財源	1,753	1,671	▲ 82
	事業費	552	489	▲ 63		国支出金	0	0	0
	職員人件費	1,202	1,183	▲ 19		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.13	0.13	0.00	地方債	0	0	0	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	1	1	0	
					特定財源 の名称	三河内郷土資料室入室料			

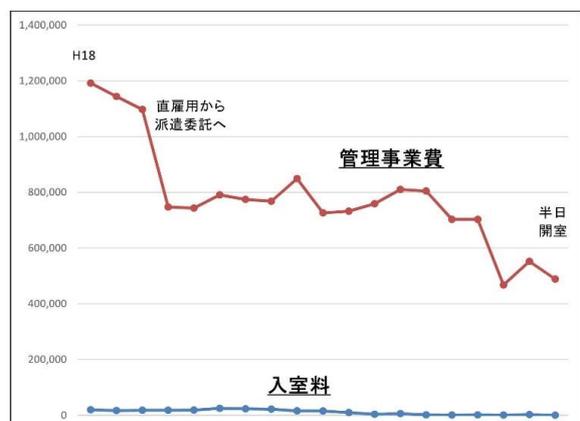
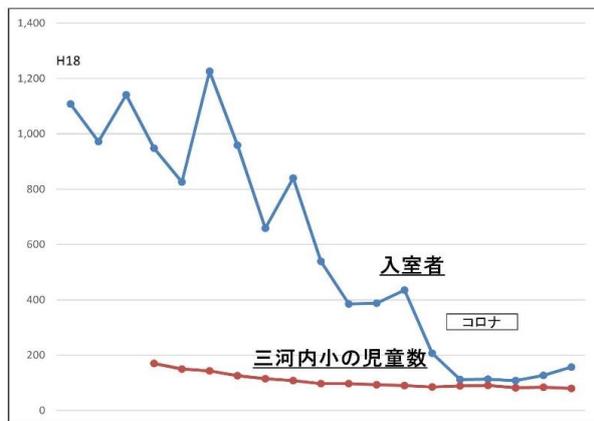
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

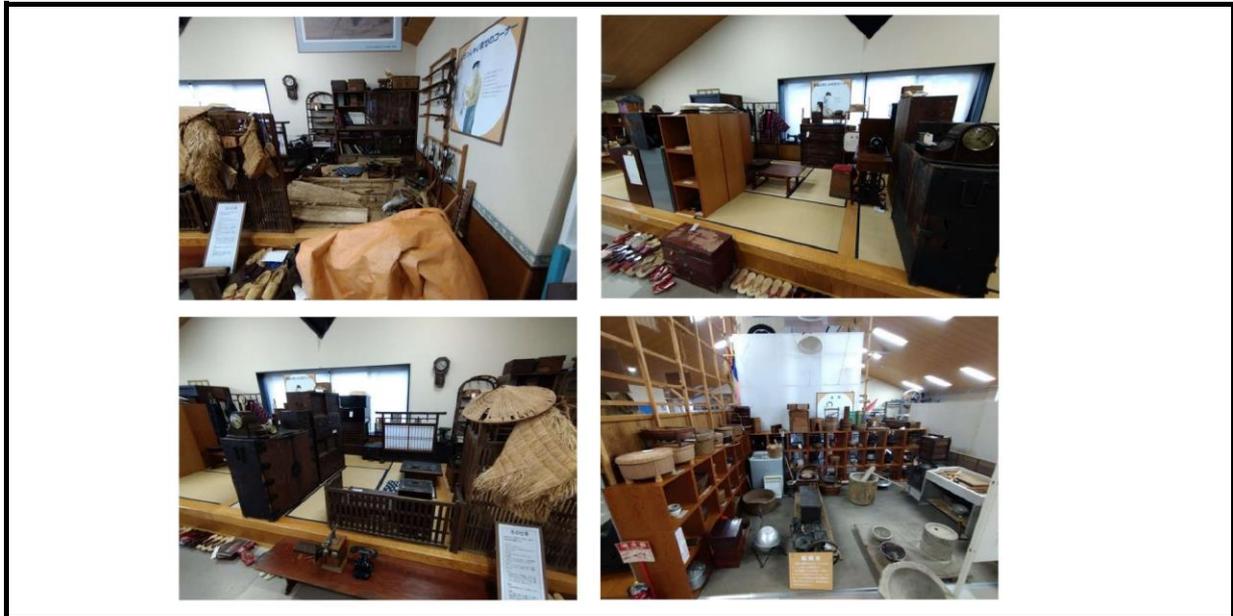
## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	三河内郷土資料室管理運営事業	類型	一般型	中事業事業費	1,754千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	三河内地区から収集した生活道具を展示公開する三河内郷土資料室の維持管理を行う。						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組  
①資料室の開室業務を委託(委託料)…464千円





## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明
大きく向上した。	
向上した。	
前年度の水準に留まった。	○
前年度の水準を下回った。	
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性
<p>利用者の大半が三河内区小学生以下の児童である。以前のように子供たちを直接に誘える関係性を持った地区の大人がいなくなり、また、これに児童数の減少も加わり、利用者数が伸びない。</p>	<p>三河内曳山祭りにフォーカスするなど展示のコンセプト・内容の一部変更を行い、三河内区民の関心を高める。</p>

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	古墳公園管理運営事業			事業コード	決算書頁
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	10050502	担当課 社会教育課 作成責任者 課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策5)文化財の継承と活用	施策名		
根拠法令等	与謝野町立古墳公園条例		関連計画等	与謝野町文化財保存活用地域計画	

## 2. 事業の目的

事業目的	国史跡蛭子山古墳と作山古墳を守り伝え、町の内外に対して本地域の固有の歴史を普及啓発する
------	---

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	開園日数	日	272/300	273/300	/273	/273	273(R9)
	来場者数	人	4,766/5,000	5,197/5,000	/5,000	/7,000	7,500(R9)
成果指標 実績/目標							
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較	
	総事業費	10,039	9,641	▲ 398	一般財源		10,039	9,641	▲ 398	
	事業費	9,114	8,731	▲ 383		特定財源	国支出金	0	0	0
	職員人件費	925	910	▲ 15			府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.10	0.10	0.00	地方債	0	0	0	0	
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0	0	
					特定財源 の名称					

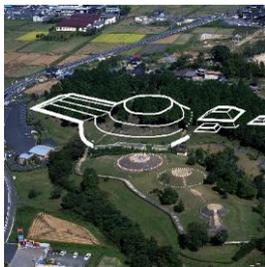
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	古墳公園維持管理事業	類型	施設管理型	中事業事業費	8,731千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	指定管理者に委託し、国史跡蛭子山古墳・作山古墳を復元整備した古墳公園の管理運営を行う						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①管理運営業務に係る指定管理料(委託料)…8,545千円
------	------------------------------



古墳公園全景



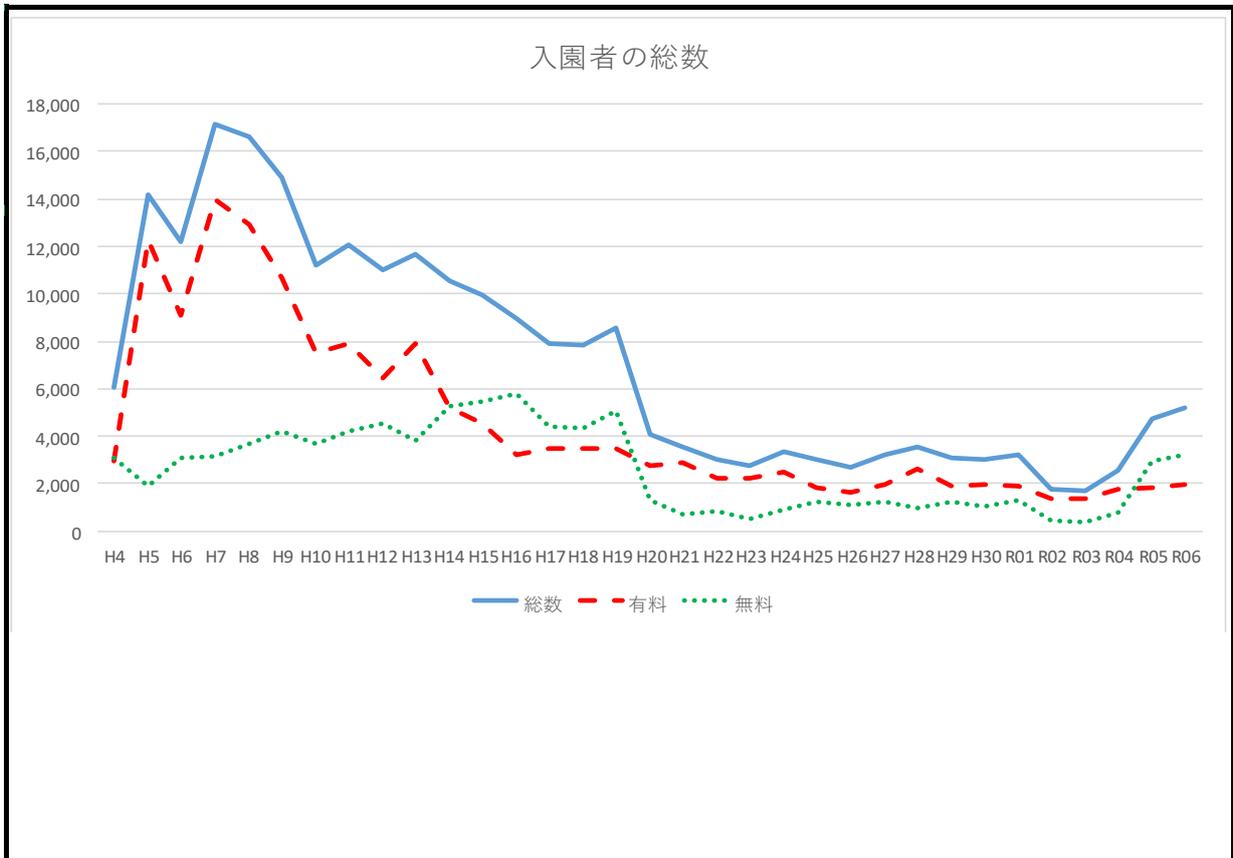
はにわ資料館



作山古墳群



いろいろの館



## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明	
大きく向上した。	<p>定期的に行われる「古墳マルシェ」「喫茶」をはじめとした自主事業の効果により、目標である来場者数を達成することができている。また入園者数は年々増加傾向にある。</p> <p>利用者アンケートや喫茶での声掛け等で利用者のニーズを把握するとともに、職員研修を実施するなど質の高いサービスの提供に努めている。</p>	
向上した。		○
前年度の水準に留まった。		
前年度の水準を下回った。		
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性	
指定管理者の努力により入園者は増加しているが、有料による入園者を増加させることが課題である。	<p>公園の特性を活かした事業の創出を行い、歴史文化をより身近に感じることで地域文化の保存・理解を促す。</p> <p>はにわ資料館の展示を変更し、入園者の満足度を高められる構成とするよう検討を行う。</p>	

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	榎文化資料館管理運営事業			事業コード	決算書頁
				10050503	担当課 社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	作成責任者	課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策5)文化財の継承と活用	施策名		
根拠法令等	文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、加悦榎文化資料館条例、加悦榎文化資料館条例施行			関連計画等	

## 2. 事業の目的

事業目的	町の木でもある榎にまつわる文化発信を通じ、地域活性化を図る
------	-------------------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	「滝のツバキ」開花状況の情報発信	回	10/10	13/10	/10	/10	10(R9)
			/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標	入館者数	年	414/1000	342/500	/500	/500	500(R9)
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較	
	総事業費	4,027	4,014	▲ 13	特定財源	一般財源	4,027	4,014	▲ 13	
	事業費	2,749	2,752	3		国支出金	0	0	0	
	職員人件費	1,278	1,262	▲ 16		府支出金	0	0	0	
(参考)	正職員	0.15	0.15	0.00	地方債	0	0	0		
	職員数	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0		
					特定財源 の名称					

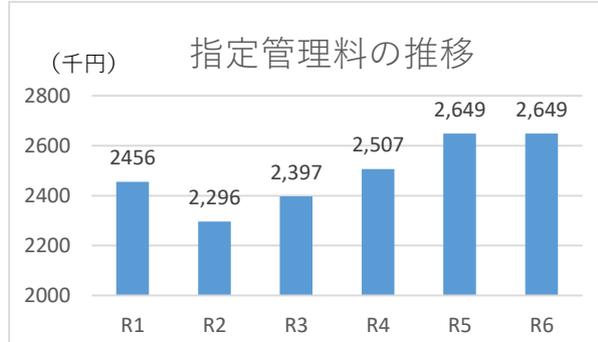
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	榎文化資料館維持管理事業	類型	施設管理型	中事業事業費	2,752千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	指定管理者に委託し、「滝のツバキ」の情報発信拠点である榎文化資料館の維持管理を行う。						

### 令和6年度の取組と成果

- 主な取組
- ①施設の管理運営を指定管理者に委託・・・2,649千円
  - ②火災保険料(建物共済)・・・48千円
  - ③ツバキ公園の土地賃借料・・・59千円



※インバウンド数 5人

※榎の開花期(3~5月)は週6日開館、非開花期(6~11月)は週3日開館、冬季積雪期(12~2月)は全面休館

※ただし、冬季休館時期も週に1回、係員が施設整備のため半日勤務

① 椿にまつわる美術工芸品の展示



②「滝のツバキ」開花状況について情報発信

※役場関係課・観光協会等に逐次メール発信



2024/4/11

2024/5/17

2025/3/17

開花期を中心に花の量、蕾の付き方等について、来場者の利便性のため写真とテキストで情報発信

③ 椿の油絞り体験／挿し木体験の実施(指定管理者自主事業)

椿油絞り体験



挿し木体験



6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明
大きく向上した。	
向上した。	
前年度の水準に留まった。	○
前年度の水準を下回った。	
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性
<p>コロナ禍で減少した来館者数の回復を行う。また令和8年度をもって指定管理の任期が終了となり、現指定管理者の組織内での後継者不足が課題である。</p>	<p>現在取り組んでいる町内の学校を中心とした校外学習や観光協会と連携した体験利用をさらに促進し、周知と集客に努める。</p> <p>滝の千年椿や本施設が果たす機能を踏まえ、施設の今後の管理運営方法の検討に加え、老朽化が進む施設修繕やその在り方についても検討する。</p>

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	江山文庫管理運営事業			事業コード	決算書頁	
				10050504	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名		
	施策名	(施策3)未来を見据えた行財政運営		施策名		
根拠法令等	文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町立江山文庫条例			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	文化財の活用と短詩形文学の振興を目指す。
------	----------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	企画展の開催	回	3/3	3/3	/3	/3	/3(R9)
	文化講座の開催	回	35/35	35/35	/35	/35	/40(R9)
成果指標 実績/目標	入館者数	人	493/1,500	478/1,500	/1,500	/1500	/1500(R9)
	文化講座参加者数	人	272/300	312/300	/300	/350	/400(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
	総事業費	5,275	5,582	307	特定財源	一般財源	5,210	5,516	306
	事業費	2,399	2,706	307		国支出金	0	0	0
	職員人件費	2,876	2,876	0		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.35	0.35	0.00	地方債	0	0	0	
職員数	会計年度任用職員	1.00	1.00	0.00	その他特定財源	65	66	1	
					特定財源 の名称				

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	江山文庫維持管理事業	類型	施設管理型	中事業事業費	5,582千円	うち会計年度任用職員報酬等
事業内容	江山文庫の施設の維持管理を行うほか、企画展や文化講座を開催する。					

### 令和6年度の取組と成果

- 主な取組
- ①江山文庫の維持管理を実施(需用費・委託料)・・・2219千円
  - ②江山文庫収蔵資料について動産総合保険に加入(役務費)・・・100千円
  - ③事務用ノートパソコンを購入(情報通信機器購入費)・・・147千円

### ●企画展の実施

年度内入館者総数 478人

- ①旧尾藤家住宅重要文化財指定記念展「重文邸宅の障壁画」令和6年2月9日～7月21日 ※年度またぎ・・・R6分入館者数130人
  - ②江山文庫開館30周年記念展「橋立と大江山とに抱かれて」令和6年8月1日～令和7年1月19日・・・会期中入館者数242人
  - ③企画展「ながいもの展」令和7年1月31日～6月29日 ※年度またぎ・・・R6分入館者数106人
- 適宜展示解説を実施(写真)

### ●文化講座の実施

利用者合計312人

- ①句会体験講座(毎月第2金曜日開催)・・・12回実施 延参加人数57人
- ②与謝野晶子の童話読書会(第4金曜開催 ※11月を除き毎月開催)・・・11回実施 延参加人数75人
- ③インターネット俳句会の実施(毎月実施)・・・10回実施 延参加人数171人
- ④日曜文化講座の実施(2・3月)・・・2回実施 参加人数9名

### 展示解説の様子

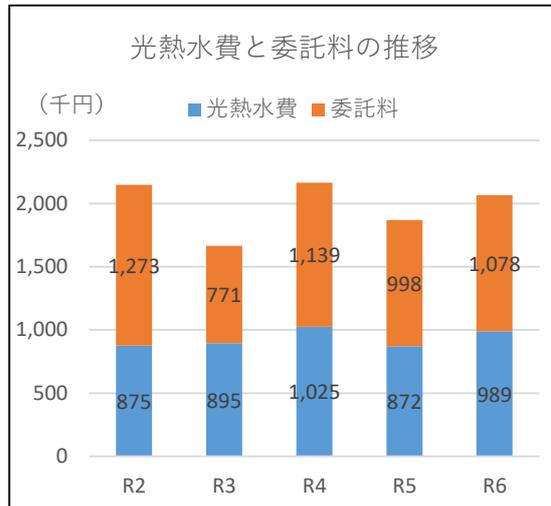
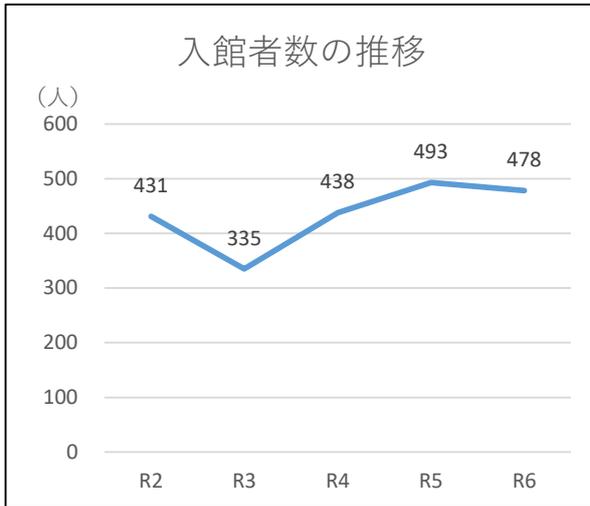


### 句会体験講座の様子



### 読書会の様子





## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

### 事業目的に対する自己評価

町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明	
大きく向上した。	<p>コロナ禍で激減した入館者数及び文化講座参加者数(来場分)がほぼ横這い状態で、コロナ以前の水準への回復ができていない。</p>	
向上した。		
前年度の水準に留まった。		○
前年度の水準を下回った。		
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性	
<p>コロナ禍で減少した来館者数の回復が課題であるが、現在の入館者数から急増させる手立てが無いのが現状。併せて地元俳句会の高齢化が進み研修室の貸室定期利用が減少している。</p> <p>また、開館から四半世紀を過ぎ施設の老朽化が顕在化している。喫緊のものとしてはエアコンの集中管理システムが部品払底のため現在は稼働しているが故障時にはシステムを全交換する必要がある。</p>	<p>文化講座や貸室利用の周知拡大により町内における研修室の利用を促進する。平日に定期開催している文化講座を日曜・祝日にもスポット開催し新規参加者層の拡大を図る。</p> <p>町内俳句教室や俳句大会前日吟行ツアーとの連携により、さらなる利用の拡大を目指す。</p> <p>施設については、老朽化部位を計画的に修繕しながら運営を続ける。</p>	

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	文化財資料保存施設管理運営事業			事業コード	決算書頁	
				10050505	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 社会教育費	目 教育文化施設管理費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策5)文化財の継承と活用		施策名		
根拠法令等	与謝野町立農村文化保存伝習センター条例			関連計画等	与謝野町文化財保存活用地域計画	

## 2. 事業の目的

事業目的	文化財収蔵庫及び資料整理室の管理運営
------	--------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	適切な保管状況の構築(2施設)	回 1/1	2/2	/2	/2	1(R8)
成果指標 実績/目標	古文書箱の防虫剤の交換(年2回)	回 2./2	1/1	/1	/2	2(R8)
	古文書などの燻蒸(殺虫・殺カビ、3年毎)	回 0/0	1/1	/0	/0	1(R8)
指標で表せない 成果・効果						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	1,210	1,652	442	一般財源	1,210	1,652	442
事業費	285	742	457	特定財源	国支出金	0	0
職員人件費	925	910	▲ 15		府支出金	0	0
(参考) 正職員	0.10	0.10	0.00		地方債	0	0
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	0
会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	特定財源 の名称			

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	文化財資料保存施設管理運営事業	類型	一般型	中事業事業費	742千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	古文書・出土品・民具等の収蔵文化財を適切な状態で保管する。						

### 令和6年度の取組と成果

- 主な取組
- ①農村文化保全伝習センターの需用費(電気・上下水道・修繕)…160千円
  - ②資料箱の殺虫・殺カビ(3年に1回)業務委託…463千円
  - ③草刈り作業委託…48千円



収蔵状況(農村文化保存伝習センター)



収蔵状況(旧桑飼保育所)



中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>3年に1回の古文書箱の殺虫・殺カビ業務委託を実施できた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>温湿度設備(空調機器)がない施設であり、収蔵環境の安定化に難がある。</p>	<p>防虫剤交換を適切に行っていく。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	社会体育推進事業			事業コード	決算書頁	
				10060102	担当課	社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 保健体育費	目 保健体育総務費	作成責任者	課長 小谷貴儀	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現		施策名		
根拠法令等	スポーツ基本法、与謝野町スポーツ推進委員に関する規則、与謝野町社会教育関係補助金交付要綱			関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	町民の生涯スポーツの充実を図る
------	-----------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	社会体育団体加入者数	人	1,837/2,000	1,908/2,000	/2,000	/2,000	2,000(R9)
成果指標 実績/目標	スポーツイベント参加者数	人	1,438/2,000	1,647/1,250	/2,000	/2,280	2,280(R9)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較	
	総事業費	10,600	12,855	2,255	一般財源		10,600	11,738	1,138	
	事業費	7,040	7,125	85		特定財源	国支出金	0	0	0
	職員人件費	3,560	5,730	2,170			府支出金	0	1,117	1,117
(参考)	正職員	0.64	0.86	0.22	地方債	0	0	0		
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	0	0	0		
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源 の名称	(府)きょうと地域連携交付金(R6)				

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	スポーツ推進委員活動事業	類型	一般型	中事業事業費	879千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	スポーツ推進委員を設置し、スポーツの実技の指導及び助言を行う						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①スポーツ推進委員会議の開催等(報酬)・・・840千円						
	②スポーツ推進委員活動の支援(旅費・需用費・使用料及び賃借料)・・・8千円						
	③上部団体との連携による活動の推進等(負担金)・・・31千円						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員22名</li> <li>・丹後スポーツ推進委員協議会地区別事業への参加</li> <li>・京都府スポーツ推進委員研究大会への参加</li> <li>・いきいきウォーキング、スポーツフェスタの企画運営</li> <li>・(主な出務) スポーツクラブ(毎週月・火)、その他派遣依頼に基づく競技指導</li> <li>よさの大江山登山マラソン、関西大学駅伝等におけるスタッフ</li> </ul>							
中事業②	社会スポーツ団体育成事業	類型	一般型	中事業事業費	3,004千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	社会スポーツ団体の活動に対し補助金を交付する。						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①与謝野町ジュニアスポーツ連絡協議会の運営に対する費用を支援(補助金)・・・280千円						
	②与謝野町スポーツ協会の運営に対する費用を支援(補助金)・・・2,154千円						
	③総合型スポーツクラブの運営に対する費用を支援(補助金)・・・570千円						
<ul style="list-style-type: none"> <li>①与謝野町ジュニアスポーツ連絡協議会加盟団体 チーム数: 21 チーム 加盟者数: 501 人</li> <li>②与謝野町スポーツ協会 加盟団体数: 14 団体 加盟者数: 1205 人</li> <li>③総合型スポーツクラブ 団体数: 1 団体 加盟者数: 202 人</li> </ul>							

中事業③	スポーツイベント運営支援事業	類型	一般型	中事業事業費	2,966千円	うち会計年度任用職員報酬等
事業内容	町認定スポーツイベントの主催者を対象に、イベント運営経費に対し補助金を交付する。					
令和6年度の取組と成果						
主な取組	①スポーツフェスタよさの・与謝野町ビーチボールバレー大会(需用費)・・・31千円 ②③④町内のスポーツイベントに要する費用の一部を支援(補助金)・・・2,935千円					
①スポーツフェスタよさの(町スポーツ推進委員+青少年育成会共催事業) 参加者数 116人 与謝野町ビーチボールバレー大会(町スポーツ推進委員事業) 参加者数 27人 6チーム ②丹後大学駅伝(与謝野町・京丹後市・宮津市で後援会を組織し、大会運営への協力を実施(参加大学数:22校+OP参加1校)。 ③よさの大江山登山マラソン 第17回 申込者数:959人(当日出走者数:863人 ■内訳23.5km:356人、10km:274人、3.5km:233人) ④与謝野町駅伝競走大会 参加:11チーム						
中事業④	保健体育総務費一般経費	類型	一般型	中事業事業費	276千円	うち会計年度任用職員報酬等 0千円
事業内容	社会体育全般に係る経費					
令和6年度の取組と成果						
主な取組	①公用車の燃料代・・・106千円 ②町公認スポーツイベントに対する傷害保険への加入・・・170千円					
町公認スポーツイベントの参加者を対象とした傷害保険への加 予定人数:3,100人						

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価		
町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、	左記の具体的説明	
大きく向上した。	スポーツ推進員による指導やイベント支援がなされ、また今年度から青少年育成会の「親子ふれあい事業」との共催とした「スポーツフェスタよさの」には多くの参加者を集めて盛大に開催できた。 また、スポーツ協会の加入団体、加入者数は減少しているが、ジュニアスポーツの加入団体、加入者数は増加傾向にあり、子どもたちのスポーツの選択肢の確保、環境の充実に向けた動きが見えるようになってきた。	
向上した。		○
前年度の水準に留まった。		
前年度の水準を下回った。		
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性	
人口減少・少子高齢化・気象条件などがある中で、スポーツ団体自体の維持や、スポーツイベントの開催について継続が困難になりつつある。	イベントの統合の検討や、各団体との対話を深めることで、社会体育基盤の持続可能性を追求する。	

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	屋外体育施設管理運営事業			事業コード	決算書頁
				10060201	担当課 社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 保健体育費	目 社会体育施設管理費	作成責任者	課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名	
	施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現		施策名	
根拠法令等	与謝野町立体育施設条例及び施行規則 与謝野町立学校施設の利用に関する条例及び規則			関連計画等	

## 2. 事業の目的

事業目的	町民が屋外でスポーツができる環境を作る
------	---------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	維持施設数	施設	10/10	10/10	/10	/10	10(R9)
	施設利用者数	人	32,157/40,000	37,646/40,000	/40,000	/40,000	40,000(R9)
成果指標 実績/目標							
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

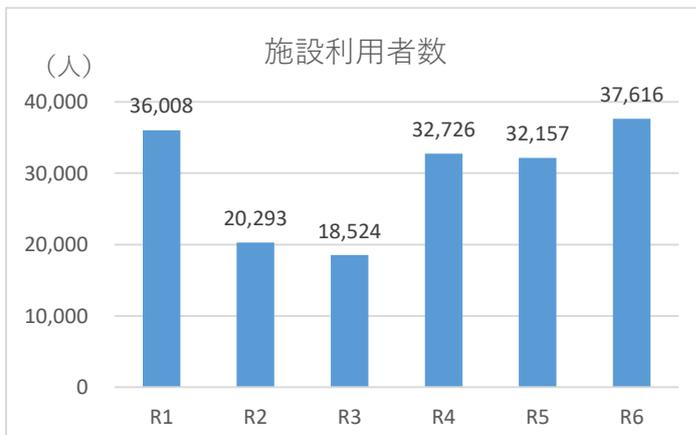
事業コスト		R5年度	R6年度	比較	財源内訳		R5年度	R6年度	比較
(参考)	総事業費	76,334	16,938	▲ 59,396	特定財源	一般財源	10,344	9,551	▲ 793
	事業費	74,720	15,581	▲ 59,139		国支出金	0	0	0
	職員人件費	1,614	1,357	▲ 257		府支出金	0	6,000	6,000
(参考)	正職員	0.30	0.25	▲ 0.05	地方債	48,900	0	▲ 48,900	
	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	17,090	1,387	▲ 15,703	
注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。 注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。					特定財源の名称	(府)原子力発電施設等立地基盤整備支援事業費補助金(R6)、(地)地方債(R5)、(そ)使用料等(R5、R6)			

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	屋外体育施設維持管理事業	類型	一般型	中事業事業費	9,565千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	グラウンド、テニスコート、運動公園等、社会体育活動の場を提供する屋外社会体育施設の管理運営を行う						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①各施設の維持管理費(需用費)・・・5,442千円
	②各施設の維持管理費(委託料)・・・3,546千円



### 主な修繕等

- ・スポーツトラクター修繕 751千円
- ・野田川グラウンド砂場木枠修繕 99千円

中事業②	屋外体育施設整備事業	類型	一般型	中事業事業費	6,016千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	社会体育活動の場を提供する屋外社会体育施設の施設整備を行う						
令和6年度の取組と成果							
主な取組	①大江山運動公園グラウンド進入路改良工事実施設計(委託料)・・・6,016千円						
<p>大江山運動公園グラウンドが京都府の原子力災害に係る広域避難要領等において、「避難退域時検査場所候補地」に位置付けられている関係で、大型車両が進入できるよう、グラウンドと道路をつなぐ進入路の勾配の改良工事の実施設計を行った。</p>							

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>各施設・設備の老朽化が進んでいるため、適宜修繕を行いながら維持に努めた。</p> <p>また、体育施設の維持については、多くの利用者から積極的な協力をいただいているところであり、そうした協力があってなんとか維持できている状況である。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>各体育施設の需要は依然高いものの、老朽化が進んでいることに加え、マンパワー的にも、財政的にも全ての施設への対応は厳しい状況である。</p> <p>また、使用料についても、受益者負担の適正額の議論が求められている。</p>	<p>施設の使用料の見直しについて、情報収集と議論を進め、方向性を見出す。</p> <p>また、社会体育施設のみならず町全体のグラウンドデザインを含めた議論を進める。</p> <p>修繕については、施設の将来を見越しながら、優先順位を付け進める。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	屋内体育施設管理運営事業			事業コード	決算書頁
				10060202	担当課 社会教育課
歳出費目	款 教育費	項 保健体育費	目 社会体育施設管理費	作成責任者	課長 小谷貴儀
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち	分野名		
	施策名	(施策4)生涯スポーツ社会の実現	施策名		
根拠法令等	与謝野町立体育施設条例及び施行規則		関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	町民が屋内でスポーツができる環境を提供する
------	-----------------------

## 3. 業績指標

指 標		単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標
活動指標 実績/計画(見込)	維持施設数	施設	7/7	7/7	/7	/7	(R8)
			/	/	/	/	
成果指標 実績/目標	施設利用者数	人	33,599/32,700	44,079/32,700	/32,700	/32,700	(R8)
			/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト				財源内訳						
	R5年度	R6年度	比較		R5年度	R6年度	比較			
総事業費	11,284	12,067	783	一般財源	10,232	11,058	826			
	事業費	10,477	11,260		783	特定財源	国支出金	0	0	0
	職員人件費	807	807		0		府支出金	0	0	0
(参考)	正職員	0.15	0.15	0.00	地方債	0	0	0		
職員数	会計年度任用職員	0.00	0.00	0.00	その他特定財源	1,052	1,009	▲ 43		
				特定財源 の名称						

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。

注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	屋内体育施設維持管理事業	類型	一般型	中事業事業費	うち会計年度任用職員報酬等
事業内容	社会体育活動の場を提供する屋内社会体育施設の管理運営を行う。				

### 令和6年度の取組と成果

- 主な取組
- ①各施設の維持管理費(需用費)・・・491千円
  - ②各施設の維持管理費(委託料)・・・6,490千円



### 主な修繕等

- ・野田川体育館館前水道管修繕 440 千円
- ・大江山体育館玄関前階段修繕 39 千円
- ・岩滝体育館施設管理運営業務委 4,004 千円

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>各施設、老朽化が進んでいるため、適宜修繕を行いながら、適切な施設維持に努めた。</p> <p>利用者数等も回復傾向にあり、施設の需要は依然高いものとする。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和7年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>各体育施設の老朽化が目立ってきていると同時に、町全体の公共施設のあり方検討の中でも、体育施設全体の網羅的な存廃の判断が求められている。</p> <p>また、使用料について、受益者負担の適正額の議論が求められている。</p>	<p>施設のあり方や使用料について、町全体の施設で検討をする必要があるため、全町的な課題として取り組んでいく。</p> <p>また、社会教育施設の在り方に関するまちの考え方(案)を住民の意見を聞きながらまとめる。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	学校給食センター管理運営事業			事業コード	決算書頁
				10060302	担当課 学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 保健体育費	目 学校給食費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午
総合計画	分野名	(分野7)住民が主人公となるまち		分野名	
	施策名	(施策3)未来を見据えた行財政運営		施策名	
根拠法令等	学校給食法		関連計画等		

## 2. 事業の目的

事業目的	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、適切な栄養摂取による健康保持・増進と望ましい食習慣を養うとともに、学校生活における食育の推進・充実を図る。
------	---

## 3. 業績指標

指標	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)	残菜量の削減	kg	1,363/910	1,362/1,300	/1,200	/1,100	1,100(R9)
		/	/	/	/	/	/
成果指標 実績/目標		/	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/	/
指標で表せない 成果・効果	栄養バランスの取れた食事の提供を行うのが目的のため、成果を数値として表すのは困難。						

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較
総事業費	178,049	180,523	2,474	一般財源	90,695	95,985	5,290
事業費	134,200	144,764	10,564	特定財源			
職員人件費	43,849	35,759	▲ 8,090	国支出金	0	0	0
(参考) 正職員	6.24	5.39	▲ 0.85	府支出金	1,708	0	▲ 1,708
職員数				地方債	0	0	0
会計年度任用職員	13.10	17.25	4.15	その他特定財源	85,646	84,538	▲ 1,108
				特定財源 の名称	給食センター運営費負担金 給食費実費徴収金(給食センター) 給食費実費徴収金(給食センター・滞納繰越分)		

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	給食センター管理運営事業	類型	一般型	中事業事業費	144,764千円	うち会計年度任用職員報酬等	47,916千円
事業内容	学校給食センターの管理運営を行い、栄養バランスの取れた給食を児童生徒に提供するほか、食育に取り組む。						

### 令和6年度の取組と成果

- 主な取組
- ①給食調理業務・・・89,966千円
  - ②施設設備の維持管理・・・6,850千円

- ・給食センター運営委員会の開催(年1回)、献立指導部会(年3回)、給食だより・献立表(年11回)、給食指導・交流ノート・動画(8校)給食指導
- ・年間実施回数:197回 実施人数:249,031食



給食献立



給食センター



配送トラック

中事業②		類型		中事業事業費		うち会計年度任用 職員報酬等
事業内容						
令和6年度の取組と成果						
主な取組						

#### 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1"> <tr> <td>大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>前年度の水準に留まった。</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。	○	前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>令和5年度と同様に継続した事業実施ができた。</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。	○								
前年度の水準を下回った。									
事業の課題	令和6年度以降における課題解決に向けた方向性								
<p>施設・厨房機械の老朽化に伴い、修繕費用も掛かっている。</p> <p>またコロナウイルス感染症等による急な欠席は減少傾向ではあるが、残菜量は例年並みである。</p>	<p>丹後管内の食材使用率については50パーセント近くであり、今後ともこれを維持・増やして行きたい。</p> <p>また給食指導については、栄養教諭を始め各学校の教員の指導のもと、給食を通して子どもたちの礼儀作法・生活規律等を養っております。今後については献立の改良や調理の工夫等を行いながら、残菜量の減少に努めたい。</p>								

# 令和6年度 事業評価表

## 1. 事業の属性情報

事業名	学校給食センター施設整備事業			事業コード	決算書頁	
				10060303	担当課	学校教育課
歳出費目	款 教育費	項 保健体育費	目 学校給食費	作成責任者	次長兼課長 中上伸午	
総合計画	分野名	(分野5)魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち		分野名		
	施策名	(施策2)一人ひとりを大切に作る環境づくり		施策名		
根拠法令等	学校給食法、学校給食衛生管理基準			関連計画等	与謝野町立学校給食センター整備基本計画	

## 2. 事業の目的

事業目的	安全で安心して食べられる美味しい給食を安定的に提供できる体制を図る。
------	------------------------------------

## 3. 業績指標

指標	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	最終目標	
活動指標 実績/計画(見込)							
成果指標 実績/目標	新学校給食センター建設工事の進捗率	%	0/0	0/0	/30	/100	100(R8)
指標で表せない 成果・効果							

## 4. 執行の状況

(単位:千円、人)

事業コスト	R5年度	R6年度	比較	財源内訳	R5年度	R6年度	比較	
総事業費	66,746	117,691	50,945	一般財源	7,646	3,642	▲ 4,004	
事業費	59,125	111,285	52,160	特定財源	国支出金	0	0	
職員人件費	7,621	6,406	▲ 1,215		府支出金	0	0	
(参考) 正職員	0.90	0.76	▲ 0.14		地方債	59,100	108,400	49,300
職員数	0.00	0.00	0.00		その他特定財源	0	5,649	5,649
				特定財源の名称	(地)地方債(R5、R6)、(そ)給食センター施設整備負担金(R6)			

注)「事業コスト」、「財源内訳」は、前年度からの繰越額を含んだ数値を記載。  
注)「職員人件費」は、便宜上、役職別人工数に1人あたり年間平均人件費(町一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載。

## 5. 事業目的達成のための手段と成果

中事業①	学校給食センター施設整備事業	類型	建設・整備型	中事業事業費	111,285千円	うち会計年度任用職員報酬等	0千円
事業内容	旧岩屋小学校を解体し新学校給食センターを整備する						

### 令和6年度の取組と成果

主な取組	①新給食センター建設工事設計を実施(委託料)・・・31,653千円 ②新給食センター建設に伴う旧岩屋小学校解体工事を実施・・・78,928千円
------	--

旧岩屋小学校解体撤去工事(解体完了し、更地になった状態)



令和5年度から令和6年度にかけて旧岩屋小の解体工事等を実施し、令和6年度から令和8年度にかけて新給食センターの建築工事等を実施する。

## 6. 担当課による自己評価及び今後の方向性

事業目的に対する自己評価									
<p>町民の利便性(ニーズ含む)や事業の効率性・有効性が、</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">大きく向上した。</td> <td style="width: 50px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">前年度の水準を下回った。</td> <td></td> </tr> </table>	大きく向上した。		向上した。		前年度の水準に留まった。		前年度の水準を下回った。		<p>左記の具体的説明</p> <p>(テキストボックス内に記入してください。)</p>
大きく向上した。									
向上した。									
前年度の水準に留まった。									
前年度の水準を下回った。									
<p>事業の課題</p> <p>学校給食施設は、現在5小学校と3中学校(組合立橋立中学校を含む)に給食を提供している給食センターと自校給食の1小学校(岩滝小学校)で運営を行っているが、それぞれ建物の老朽化が進んでいる。また、設備機器等については、更新してはいるものの、平成21年改正の学校給食法に基づく学校給食衛生管理基準や大量調理施設衛生管理マニュアル等の法令、各種基準の遵守は、施設が古いため十分にはできていない状態である。</p>	<p>令和7年度以降における課題解決に向けた方向性</p> <p>給食センター施設整備事業を進め、令和8年度2学期から供用開始を行い、安全でおいしい学校給食が提供できるようにする。</p>								